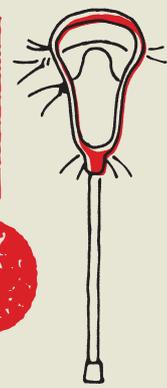


JAPAN NATIONAL
COLLEGE LACROSSE
CHAMPIONSHIPS
2019



第11回
ラクロス全日本
大学選手権大会



Road to the Top of JAPAN 2019

●決勝戦:2019年12月15日(日)
東京都(江戸川区)・江戸川区陸上競技場

第30回全日本選手権大会

大学選手権の優勝チーム、クラブ選手権の優勝チームによる対戦

第11回大学選手権大会

北海道・関東・東海・関西・九州の優勝及び、
2地区予選勝者による対戦

●決勝戦:2019年12月1日(日)
東京都(世田谷区)・駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場

●準決勝戦:2019年11月24日(日)
(大阪会場)大阪府(大阪市)・ヤンマーフィールド長居
女子:同志社大学(関西1位) vs 1回戦(仙台会場)勝者
男子:関西学院大学(関西1位) vs 1回戦(仙台会場)勝者

●準決勝戦:2019年11月24日(日)
(佐賀会場)佐賀県(佐賀市)・SAGA サンライズパーク球技場
女子:立教大学(関東1位) vs 1回戦(名古屋会場)勝者
男子:早稲田大学(関東1位) vs 1回戦(名古屋会場)勝者

●1回戦:2019年11月17日(日)
(仙台会場)宮城県(仙台市)・弘進ゴム アスリートパーク仙台
(仙台市陸上競技場)
女子:北海道大学(北海道1位) vs 宮城学院女子大学(2地区予選勝者)
男子:北海道大学(北海道1位) vs 東北大学(2地区予選勝者)

●1回戦:11月16日(土)
(名古屋会場)愛知県(名古屋市)・港サッカー場
女子:南山大学(東海1位) vs 福岡大学(九州1位)
男子:南山大学(東海1位) vs 九州大学(九州1位)

第21回クラブ選手権大会

4支部(東日本・東海・関西・中四国)の各優勝チーム、
及び、ワイルドカードの2チーム
[前年度クラブ選手権優勝・準優勝地区]

●決勝戦:2019年12月8日(日)
東京都(世田谷区)・駒沢オリンピック公園第一球技場

●準決勝戦:2019年11月24日(日)
(名古屋会場)愛知県(名古屋市)・テラスポ鶴舞
女子:NeO(東日本1位) vs 1回戦(名古屋会場)勝者
男子:FALCONS(東日本1位) vs 1回戦(名古屋会場)勝者

●準決勝戦:2019年11月23日(土祝)
(東京会場)東京都(世田谷区)・駒沢オリンピック公園第一球技場
女子:FUSION(東日本2位【ワイルドカード】) vs NLC SCHERZO(1回戦勝者)
男子:Stealers(東日本2位【ワイルドカード】) vs ACL(1回戦勝者)

●1回戦:2019年11月9日(土)
(名古屋会場)愛知県(名古屋市)・テラスポ鶴舞
女子:SELFISH(東海1位) ●4-13 ○MISTRAL(東日本3位【ワイルドカード】)
男子:WOLVES(東海1位) ●1-10 ○VIKINGS(東日本3位【ワイルドカード】)

●1回戦:2019年11月3日(日)
(山口会場)山口県(防府市)・防府市スポーツセンター
女子:NLC SCHERZO(関西1位) ○25-2 ●SIRIUS(中四国1位)
男子:ACL(関西1位) ○4-3 ●Ardito(中四国1位)

学生リーグ戦

(5支部)

北海道・関東・東海・関西・九州

2地区予選

2019年11月2日(土)

京都府(京都市)・洛西浄化センター球技場

学生リーグ戦

(2地区)

東北・中四国

クラブチーム リーグ戦

(東日本支部)

クラブチーム リーグ戦

(東海支部)

クラブチーム リーグ戦

(関西支部)

クラブチーム リーグ戦

(中四国支部)

中四国・九州地区チームが出場



第 11 回ラクロス全日本大学選手権大会

主 催；一般社団法人 日本ラクロス協会

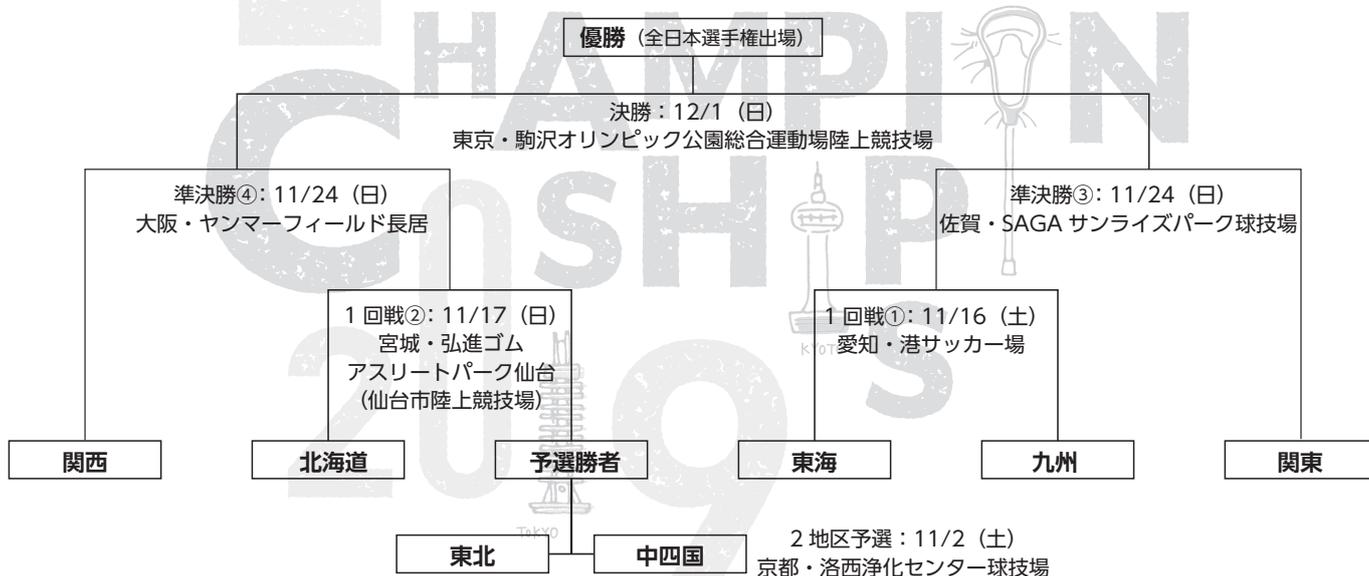
主 管；日本学生ラクロス連盟

後 援；東京都

問い合わせ；一般社団法人日本ラクロス協会事務局東京事務所 TEL (03) 3666-2862

(※営業時間：平日 12:00 ~ 19:00)

JLA 公式サイト；<http://www.lacrosse.gr.jp/>



決勝戦 **2019年12月1日(日)**
於；東京都世田谷区・駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
③の勝者 vs ④の勝者 [女子 11:30 / 男子 14:00]

準決勝③ **11月24日(日)**
於；佐賀県佐賀市・SAGA サンライズパーク球技場
関東 1位 vs ①の勝者 [男子 11:00 / 女子 11:00]
※ 2面同時開催

準決勝④ **11月24日(日)**
於；大阪府大阪市・ヤンマーフィールド長居
関西 1位 vs ②の勝者 [女子 11:00 / 男子 14:00]

1回戦① **11月16日(土)**
於；愛知県名古屋市の港サッカー場
東海 1位 vs 九州 1位 [男子 11:00 / 女子 14:00]

1回戦② **11月17日(日)**
於；宮城県仙台市・弘進ゴムアスリートパーク仙台
北海道 1位 vs 2地区予選勝者 [女子 11:00 / 男子 14:00]

※雨天決行 (特別な場合を除く) ※雨天時はレインコートの着用にご協力願います ※ベット同伴入場不可
※練習中または試合中のボールにご注意ください ※試合開始時間は前試合の延長等により、変更する場合があります
※フラッシュ・三脚・一脚を用いた撮影はご遠慮ください ※試合は、写真・動画等の撮影があります。観客席が映り込むこともありますので、予めご了承ください ※来場者による本試合のライブ配信・動画配信はご遠慮ください

GREETING



一般社団法人日本ラクロス協会
理事長
佐々木 裕介

第11回ラクロス全日本大学選手権大会にご協力頂きました全ての関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

本年6月に財務・事業計画等をWEB公表後、JLAは様々な取組みに着手してきました。本格的なマーケティング機能の立上げ、ジュニアラクロス大会の開催(12月)、将来のワールドカップ日本招聘のための具体的なファシリティー調査等の戦略的企画が走り始めています。

8月のカナダU19女子ワールドカップでは、日本人審判が表彰され、また、決勝戦でもジャッジを担う活躍がありました。日本代表は惜しくも準決勝進出はならなかったものの、過去最高戦績タイの5位と善戦、日本代表プロジェクト推進委員会(NPC)では、既に来年の英米豪への代表遠征プランを固め、常時、世界のTop4に食い込むポジションを目指して中長期強化策を着実に推進しています。

国際ラクロス連盟は事務局人員を拡充、「6人制ルール」の策定とその定着に注力し、また、米国では男女セミプロリーグが始まり、ラクロスで生計を立てる人を増やしていく取組が徐々に広がってきました。米国で活躍する日本人選手も増え始めています。

組織基盤では、熱中症や脳震盪等を防止する「安全対策準備委員会」を新設し、運動生理学・医学・トレーナー等の専門家を招聘、マッチコミッション制度との連携を進めます。

会員新規DB導入準備、公式戦動画のWEB配信に加え、大会イベントを独自開催する団体とコラボレーションし、幅広い協力関係を持ちながら、共にラクロスの価値を引き上げていく新機軸も加速し始めました。

今年の大学選手権大会は、京都、名古屋、仙台、佐賀、大阪、そして東京・駒沢と全国での連戦となります。本大会に参加するすべての人が、自由に動き、自らが楽しみ、そして、子供達の憧れの場として観戦される価値を創ってゆくことを願っています。ラクロス、学業、すべてに全力で邁進し、日本一を目指す大学メンバーの熱い戦いを大いに期待しています。



第11回ラクロス全日本大学選手権大会
実施本部長
古谷 太一

この度、第11回ラクロス全日本大学選手権大会が開催される運びとなりました。誠にありがとうございます。本年は特に、九州会場での準決勝開催など新たな取り組みもごございます。円滑な運営に向けて準備に関わった皆様、そして大学ラクロスに携わる全ての方々に、深く御礼を申し上げます。

過日のラグビーワールドカップの熱も冷めやらぬ中にありながら、来年の東京五輪への気運も高まり、国内におけるスポーツへの関心が急速に高まっているタイミングだと感じています。もちろん規模やステージは違いますが、ラクロスに情熱を注ぐ学生達だって負けてはいません。

ご観戦される皆様。各地区リーグ戦を勝ち上がった優勝校同士が繰り広げる熱い勝負に、大きな声援をお願い申し上げます。

なお、本大会の優勝校は、12月15日に行われる全日本選手権にて、クラブ選手権優勝チームと真のNo.1の座をかけて戦います。今シーズン最後まで、是非とも国内ラクロスをお楽しみいただければ幸いです。



第11回ラクロス全日本大学選手権大会
実施副本部長(東京会場)
菅野 史佳

今大会を開催するにあたり、ご協力いただきました全ての関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。

今年は5月に元号が“令和”へと変わり、新時代の幕開けとなりました。それと共に、試合時間の変更や女子の人数変更などのルール改正を受け、日本のラクロスも新たな歴史を歩みはじめた1年であったと思います。私自身、今年1年の部活動を振り返ってみても、ルールの変更に対応するため、昨年度からの戦術の変更や練習メニューの変更など、“変化”と向き合う場面を多く経験した1年でした。

例年がない激動の中で、全国7地区それぞれが、ルール改正にとどまらず、自然災害や猛暑を乗り越え、ラクロスのさらなる発展のために変化に果敢に挑戦してきました。その中でも、各地区のリーグ戦を勝ち抜いてきたチームが集結する大学選手権大会は、「大学日本一」を決めるだけのものではなく、ラクロスというスポーツの魅力を伝え、素晴らしさを伝えられる機会です。本大会において、過去10回に勝る熱戦が繰り広げられることを期待しております。

最後になりますが、今後の日本のラクロスのさらなる発展を祈って、私からの御挨拶とさせていただきます。

第11回 ラクロス全日本大学選手権大会



第11回ラクロス全日本大学選手権大会
実施副本部長（大阪会場）

芝池 亮太

この度は、第11回ラクロス全日本大学選手権大会を開催するにあたり、多くのご支援、ご協力を賜りました関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

関西地区では、今年度も各チーム白熱した試合を繰り広げてきました。

その関西地区を勝ち抜いた男女両チームには、全国の舞台でも存分に力を発揮し、ぜひ結果を残していただきたく思います。

我々運営スタッフは、試合校がベストなパフォーマンスを発揮できる環境作りを目指し、またご来場いただいた皆様も一緒に楽しむことができる運営を目指し、今年度運営を行ってきました。その集大成として、本大会運営に関われることを非常に嬉しく思います。

最後になりますが、ご来場いただきました皆様にお礼を申し上げるとともに、本大会の成功、今後のラクロスの更なる発展を願って、ご挨拶とさせていただきます。



第11回ラクロス全日本大学選手権大会
実施副本部長（名古屋会場）

服部 綾夏

この度は、第11回ラクロス全日本大学選手権大会を開催するにあたり、ご支援・ご協力賜りました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今年も大学選手権を東海地区で開催すること、九州地区が支部化され、昨年とは異なり1回戦を東海地区で行えることを心より嬉しく思います。今年からルールが変更となり、選手、運営スタッフ共に戸惑うこともありましたが各チームや運営スタッフの素早い対応のおかげで、無事に迎えられることが出来ました。各地区で熱い戦いを勝ち上がってきたチームにより、素晴らしい試合が繰り広げられます。各地区代表校の皆様は、日頃の積み重ねてきた努力の成果を存分に発揮していただきたいと思います。

ラクロスの醍醐味である学生主体の運営を行っている中で、本大会は今年の運営の集大成であると言えます。

当日は、試合校の方々や試合を見に来て下さる方々はもちろんのこと、老若男女、沢山の来場者を楽しんでもらう企画を沢山考えております。このように本大会で、楽しく盛り上がりがある会場作りを心掛け、実施本部スタッフ一同は準備を行ってきました。試合チームだけでなく、来て頂いた来場者も含め、会場一体となり一緒に盛り上げ、楽しんでいただけたら幸いです。

最後になりましたが、ご来場いただきました、すべての方々に厚くお礼申し上げますと共に、本大会の成功と今後のラクロス界の更なる発展を願ひまして、挨拶とさせていただきます。



第11回ラクロス全日本大学選手権大会
実施副本部長（仙台会場）

大畑 陽菜乃

この度は、第11回ラクロス全日本大学選手権大会を開催するにあたり、たくさんのご支援・ご協力を賜りました関係者の皆様には、心より御礼申し上げます。

仙台会場は、今年で3回目の実施となりますが、年々東北地区のパワーも大きくなってきているように感じます。また、私自身、このような大きな大会の運営に関われることをとても嬉しく思いますし、ご来場いただいた皆さまには、試合観戦を楽しむだけでなく、東北のパワーを感じ、会場全体で楽しむことができるような会場づくりを心掛けて参りたいと思います。

さて、今年も、本大会に至るまで、各地区でたくさんの熱い試合が繰り広げられてきたことと思います。それぞれの選手・スタッフにとっては、忘れられない場面や熱い想いがあり、そのようなたくさんの人の気持ちが一層、ラクロスを魅力あるスポーツにするのだと私は感じております。その熱い試合を戦い、勝ち抜いてきたチームの皆さまには、これまでの成果を十分に発揮していただき、日本中の学生ラクロッサーをあとと思わせる素晴らしいプレーが披露されることを期待しております。

最後になりましたが、ご来場下さいましたすべての方々に熱く御礼申し上げますとともに、本大会の成功と今後の日本ラクロスの発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



第11回ラクロス全日本大学選手権大会
実施副本部長（佐賀会場）

米倉 由亜小

この度は、第11回ラクロス全日本大学選手権大会準決勝を開催するにあたり、多くのご支援ご協力を賜りました全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

本年より九州地区は支部化を果たしました。支部としてさらなる発展を遂げるため、学生連盟を中心に各委員会、プロジェクトに取り組んでまいりました。

今回、本大会準決勝を九州で開催するにあたり、学生連盟のメンバーを中心に運営チームを組織しました。今年度のリーグ戦運営等で培ってきた経験を活かし、ラクロスの魅力が最大限発揮されるよう努力してまいります。大学選手権準決勝という大きな舞台が九州で開催されるということは、九州地区の発展にとって、大きな力になると思っております。各地区でのリーグ戦を勝ち抜き、地区の代表として戦うチームの皆様のご努力の成果が存分に発揮されることを願っております。

最後になりますが、今大会がラクロスのより一層の発展に繋がるとともに、主役である選手・スタッフの皆様一人ひとりが輝けるものとなるよう、運営チーム一同全力を尽くしてまいります。

第32回 関東学生ラグビースリーグ戦・男子 [結果]

2019年11月9日現在

1部リーグAブロック

順位	早稲田大学	慶應義塾大学	日本体育大学	明治大学	千葉大学	法政大学
2	早稲田大学	● 4-5	○ 9-5	○ 5-3	○ 14-2	○ 11-5
1	慶應義塾大学	○ 5-4	●	○ 9-2	○ 9-1	○ 8-1
4	日本体育大学	● 5-9	● 2-9	● 3-5	● 2-3	○ 9-7
3	明治大学	● 3-5	● 1-9	○ 5-3	○ 8-1	○ 8-2
6	千葉大学	● 2-14	● 3-11	○ 3-2	● 1-8	● 3-8
5	法政大学	● 5-11	● 1-8	● 7-9	○ 2-8	○ 8-3

※4位日本体育大学、5位法政大学、6位千葉大学は勝ち点で並ぶも得失点差により（大会規約に則る）

1部リーグBブロック

順位	東京大学	成蹊大学	中央大学	立教大学	武蔵大学	一橋大学
2	東京大学	○ 5-1	● 5-9	○ 7-4	○ 7-6	△ 6-6
5	成蹊大学	● 1-5	● 3-8	△ 5-5	○ 4-2	● 4-8
1	中央大学	○ 9-5	○ 8-3	○ 4-3	● 6-7	○ 6-4
3	立教大学	○ 4-7	△ 5-5	● 3-4	○ 7-4	○ 10-5
6	武蔵大学	● 6-7	● 2-4	○ 7-6	● 4-7	● 1-8
4	一橋大学	△ 6-6	○ 8-4	● 4-6	● 5-10	○ 8-1

※3位立教大学、4位一橋大学は勝ち点で並ぶも直接対決により（大会規約に則る）

2部リーグAブロック

順位	明治学院大学	獨協大学	神奈川大学	東京農業大学	横浜国立大学	東京理科大学
	明治学院大学	● 1-5	○ 5-2	○ 4-1	○ 4-2	● 1-3
1	獨協大学	○ 5-1	○ 8-2	○ 11-2	○ 7-4	○ 8-3
6	神奈川大学	● 2-5	● 2-8	△ 8-8	△ 7-7	● 7-9
5	東京農業大学	● 1-4	● 2-11	△ 8-8	● 5-7	○ 6-3
	横浜国立大学	● 2-4	● 4-7	△ 7-7	○ 7-5	○ 10-4
	東京理科大学	○ 3-1	● 3-8	○ 9-7	● 3-6	● 4-10

2部リーグBブロック

順位	青山学院大学	東海大学	筑波大学	学習院大学	上智大学	東洋大学
3	青山学院大学	● 2-9	● 4-8	○ 4-1	○ 12-2	○ 8-3
1	東海大学	○ 9-2	○ 7-4	△ 6-6	△ 7-7	○ 9-2
5	筑波大学	○ 8-4	● 4-7	○ 3-7	● 4-5	○ 10-2
2	学習院大学	● 1-4	△ 6-6	○ 7-3	○ 5-4	○ 13-2
4	上智大学	● 2-12	△ 7-7	○ 5-4	● 4-5	○ 4-3
6	東洋大学	● 3-8	● 2-9	○ 2-10	● 2-13	● 3-4

3部リーグAブロック

順位	慶應義塾高校	日本大学	東京学芸大学	茨城大学	関東学院大学
	慶應義塾高校	● 2-3	● 2-8	△ 4-4	● 0-2
	日本大学	○ 3-2	○ 2-7	○ 12-2	△ 6-6
	東京学芸大学	○ 8-2	○ 7-2	○ 18-1	○ 11-2
	茨城大学	△ 4-4	● 2-12	○ 1-18	● 2-8
	関東学院大学	○ 2-0	△ 6-6	● 2-11	○ 8-2

3部リーグBブロック

順位	国士館大学	明星大学	帝京大学	埼玉大学	専修大学	淑徳大学
	国士館大学	○ 12-0	○ 6-4	-	○ 13-0	○ 15-2
	明星大学	● 0-12	○ 6-5	-	○ 14-4	○ 17-1
	帝京大学	● 4-6	● 5-6	○ 5-3	○ 6-0	○ 6-4
	埼玉大学	-	-	● 3-5	○ 4-1	-
	専修大学	● 0-13	● 4-14	● 0-6	● 1-4	-
	淑徳大学	● 2-15	● 1-17	● 4-6	-	-

3部リーグCブロック

順位	大東文化大学	駒澤大学	成城大学	東京経済大学	玉川大学	城西大学
	大東文化大学	○ 6-4	-	● 5-6	○ 10-6	○ 5-0
	駒澤大学	● 4-6	○ 4-3	○ 4-1	○ 14-0	-
	成城大学	-	● 3-4	-	△ 3-3	-
	東京経済大学	○ 6-5	● 1-4	-	○ 12-2	○ 3-2
	玉川大学	● 6-10	○ 0-14	△ 3-3	● 2-12	○ 12-2
	城西大学	○ 0-5	-	-	● 2-3	● 2-12

3部リーグ プレーオフ (各ブロック2位の三つ巴戦 / 1位チームが2部との入替戦へ出場 / 試合形式: ・15分ハーフ、ハーフ間5分、タイムアウトは各チーム1試合につき1回)

順位	[Aブロック2位]	[Bブロック2位]	[Cブロック2位]
[Aブロック2位]		-	-
[Bブロック2位]	-		-
[Cブロック2位]	-	-	

1部、2部入替戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
法政大学 [1部Aブロック5位]	[2部Aブロック2位]	-	
千葉大学 [1部Aブロック6位]	獨協大学 [2部Aブロック1位]	-	
成蹊大学 [1部Bブロック5位]	学習院大学 [2部Bブロック2位]	-	
武蔵大学 [1部Bブロック6位]	東海大学 [2部Bブロック1位]	-	

2部、3部入替戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
東京農業大学 [2部Aブロック5位]	[3部Cブロック1位]	-	
神奈川大学 [2部Aブロック6位]	[3部プレーオフ1位]	-	
筑波大学 [2部Bブロック5位]	[3部Bブロック1位]	-	
東洋大学 [2部Bブロック6位]	[3部Aブロック1位]	-	

準決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
慶應義塾大学 [1部Aブロック1位]	東京大学 [1部Bブロック2位]	3-4	東京大学
中央大学 [1部Bブロック1位]	早稲田大学 [1部Aブロック2位]	7-8 サドンビクトリー	早稲田大学

決勝戦

* HOME/WAY 変更の可能性有

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
東京大学 [準決勝勝者]	早稲田大学 [準決勝勝者]	3-9	早稲田大学

大会形式

- 1~2部は2ブロックのリーグ戦。3部は3ブロックのリーグ戦。
- 1部各ブロック上位2校がトーナメント形式のプレイングを実施。
- 優勝校が第11回ラグビース全日本選手権大会への出場権を獲得。
- 総当りリーグ戦において、1~2部の下位4校と2~3部の上位4校が入れ替え戦を実施。
- 総当りリーグ戦の順位決定方法は勝点制度に従う。全試合終了した時点で獲得した勝点が多い学校から上位とする。

する。

勝ち:3点 引分:1点 負け:0点

※獲得した勝点が同点の場合は以下の順序によって順位を決定する

- 1) 当該校間の勝敗により決定する
- 2) 当該校のブロック戦全試合における得失点差で決定する
- 3) 当該校のブロック戦全試合における総得点の多い学校を上位とする
- 4) 当該校の代表者による抽選によって決定する

第11回 ラクロス全日本大学選手権大会

第32回 関東学生ラクロスリーグ戦・女子 [結果]

2019年11月9日現在

1部リーグAブロック

順位	慶應義塾大学	東海大学	明治大学	成蹊大学	学習院大学	法政大学
2	慶應義塾大学	△ 10-10	● 1-8	○ 5-3	○ 5-3	○ 9-3
5	東海大学	△ 10-10	● 8-10	● 7-12	○ 10-7	● 5-10
1	明治大学	○ 8-1	○ 10-8	○ 7-0	● 9-10	○ 11-3
3	成蹊大学	● 3-5	○ 12-7	● 0-7	○ 11-9	○ 9-6
6	学習院大学	● 3-5	● 7-10	○ 10-9	● 9-11	● 6-10
4	法政大学	● 3-9	○ 10-5	● 3-11	○ 6-9	○ 10-6

※慶應義塾大学 vs. 学習院大学は4Q開始前の雷発生により3Q終了時点で試合成立（大会規約に則る）

2部リーグAブロック

順位	東京学芸大学	東京女子体育大学	駒澤大学	日本女子大学	東洋大学	一橋大学
2	東京学芸大学	○ 8-6	● 5-12	○ 9-8	○ 8-7	○ 13-4
5	東京女子体育大学	● 6-8	○ 9-11	○ 4-20	△ 6-6	○ 11-6
1	駒澤大学	○ 12-5	○ 11-9	○ 14-6	○ 5-4	○ 11-2
3	日本女子大学	● 8-9	○ 20-4	● 6-14	△ 5-5	○ 10-5
4	東洋大学	● 7-8	△ 6-6	● 4-5	△ 5-5	○ 7-6
6	一橋大学	● 4-13	● 6-11	● 2-11	● 5-10	● 6-7

3部リーグAブロック

順位	玉川大学	東洋英和女学院大学	大妻女子大学	獨協大学	専修大学
1	玉川大学	○ 11-7	○ 9-6	○ 12-5	○ 9-7
5	東洋英和女学院大学	● 7-11	○ 12-7	△ 8-8	△ 10-10
5	大妻女子大学	● 6-9	● 7-12	● 3-8	● 6-12
	獨協大学	● 5-12	△ 8-8	○ 8-3	● 6-9
	専修大学	● 7-9	△ 10-10	○ 12-6	○ 9-6

3部リーグCブロック

順位	東京大学	上智大学	桜美林大学	武蔵大学	駒沢女子大学
	東京大学	○ 10-8	-	○ 14-6	○ 12-4
	上智大学	● 8-10	○ 13-4	● 8-10	-
	桜美林大学	-	● 4-13	○ 9-7	● 7-8
	武蔵大学	● 6-14	○ 10-8	● 7-9	● 8-11
	駒沢女子大学	● 4-12	-	○ 8-7	○ 11-8

4部リーグAブロック

順位	実践女子大学	国際基督教大学	関東学院大学	西武文理大学	高崎経済大学
	実践女子大学	○ 8-2	-	○ 13-7	○ 11-5
	国際基督教大学	● 2-8	○ 10-5	● 6-9	○ 12-3
	関東学院大学	-	● 5-10	○ 14-4	○ 11-9
	西武文理大学	● 7-13	○ 9-6	● 4-14	○ 12-5
5	高崎経済大学	● 5-11	● 3-12	● 9-11	● 5-12

4部リーグCブロック

順位	聖心女子大学	神奈川大学	フェリス学院大学	埼玉大学	東京経済大学
	聖心女子大学	● 5-6	△ 9-9	-	○ 22-3
	神奈川大学	○ 6-5	-	-	○ 22-0
	フェリス学院大学	△ 9-9	-	-	○ 19-6
	埼玉大学	-	-	-	-
4	東京経済大学	● 3-22	○ 0-22	● 6-19	-

※埼玉大学は9/8に没収試合となり、公式戦記録抹消（大会規約に則る）

1部リーグBブロック

順位	青山学院大学	日本体育大学	立教大学	早稲田大学	東京農業大学	中央大学
4	青山学院大学	● 2-10	● 2-18	● 2-6	○ 8-3	△ 6-6
2	日本体育大学	○ 10-2	△ 7-7	○ 12-9	○ 14-4	○ 11-9
1	立教大学	○ 18-2	△ 7-7	○ 6-3	○ 12-7	○ 18-5
3	早稲田大学	○ 6-2	● 9-12	● 3-6	○ 10-8	○ 10-2
6	東京農業大学	● 3-8	● 4-14	● 7-12	● 8-10	△ 7-7
5	中央大学	△ 6-6	● 9-11	● 5-18	○ 2-10	△ 7-7

※1位立教大学、2位日本体育大学は勝ち点で並ぶも得失点差により（大会規約に則る）

2部リーグBブロック

順位	横浜国立大学	大東文化大学	千葉大学	国士舘大学	明治学院大学	日本女子体育大学
3	横浜国立大学	○ 8-5	○ 8-7	○ 15-4	● 2-5	○ 8-7
	大東文化大学	● 5-8	○ 6-9	△ 8-8	○ 3-9	○ 4-18
	千葉大学	● 7-8	○ 9-6	○ 3-5	○ 5-6	○ 6-7
	国士舘大学	● 4-15	△ 8-8	○ 5-3	○ 3-10	○ 7-13
2	明治学院大学	○ 5-2	○ 9-3	○ 6-5	○ 10-3	○ 6-9
1	日本女子体育大学	● 7-8	○ 18-4	○ 7-6	○ 13-7	○ 9-6

※1位日本女子体育大学、2位明治学院大学、3位横浜国立大学は勝ち点で並ぶも得失点差により（大会規約に則る）

3部リーグBブロック

順位	東京理科大学	共立女子大学	成城大学	筑波大学	東京家政大学
	東京理科大学	○ 6-4	-	● 3-11	○ 9-8
5	共立女子大学	● 4-6	○ 8-10	● 6-7	○ 8-13
	成城大学	-	○ 10-8	○ 12-11	○ 9-4
	筑波大学	○ 11-3	○ 7-6	● 11-12	○ 14-3
4	東京家政大学	● 8-9	○ 13-8	● 4-9	○ 3-14

3部リーグDブロック

順位	日本大学	東京女子大学	文教大学	帝京大学	茨城大学
	日本大学	○ 14-4	○ 14-1	○ 14-3	-
	東京女子大学	● 4-14	○ 7-5	○ 11-6	● 5-7
	文教大学	● 1-14	○ 5-7	○ 13-6	○ 13-9
	帝京大学	● 3-14	○ 6-11	○ 6-13	○ 14-7
	茨城大学	-	○ 7-5	● 9-13	○ 7-14

4部リーグBブロック

順位	東京外国語大学	明星大学	白百合女子大学	創価大学
	東京外国語大学	● 4-10	△ 5-5	○ 24-1
	明星大学	○ 10-4	○ 8-9	○ 23-0
	白百合女子大学	△ 5-5	○ 9-8	-
	創価大学	● 1-24	○ 0-23	-

4部リーグ プレーオフ (各ブロック2位の三つ巴戦 / 1位チームが3部との入替戦へ出場 / 試合形式: ・15分ハーフ、ハーフ間5分、タイムアウトは各チーム1試合につき1回)

順位	[Aブロック2位]	[Bブロック2位]	[Cブロック2位]	[Cブロック2位]
	[Aブロック2位]	-	-	-
	[Bブロック2位]	-	-	-
	[Cブロック2位]	-	-	-

1部、2部入替戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
東海大学 [1部Aブロック5位]	東京学芸大学 [2部Aブロック2位]	12-8	東海大学 (1部残留)
学習院大学 [1部Aブロック6位]	駒澤大学 [2部Aブロック1位]	-	
中央大学 [1部Bブロック5位]	明治学院大学 [2部Bブロック2位]	-	
東京農業大学 [1部Bブロック6位]	日本女子体育大学 [2部Bブロック1位]	-	

2部、3部入替戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
東京女子体育大学 [2部Aブロック5位]	玉川大学 [3部Aブロック1位]	-	
一橋大学 [2部Aブロック6位]	[3部Bブロック1位]	-	
[2部Bブロック5位]	[3部Cブロック1位]	-	
[2部Bブロック6位]	[3部Dブロック1位]	-	

3部、4部入替戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
大妻女子大学 [3部Aブロック5位]	[4部Cブロック1位]	-	
共立女子大学 [3部Bブロック5位]	[4部Bブロック1位]	-	
[3部Cブロック5位]	[4部Aブロック1位]	-	
[3部Dブロック5位]	[4部プレーオフ1位]	-	

準決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
明治大学 [1部Aブロック1位]	日本体育大学 [1部Bブロック2位]	10-3	明治大学
立教大学 [1部Bブロック1位]	慶應義塾大学 [1部Aブロック2位]	11-6	立教大学

決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
明治大学 [準決勝勝者]	立教大学 [準決勝勝者]	4-6	立教大学

大会形式

- 1～2部は2ブロックのリーグ戦。3部は4ブロックのリーグ戦。4部は3ブロックのリーグ戦。
- 1部各ブロック上位2校がトーナメント形式のプレイオフを実施。
優勝校が第11回ラグロス全日本大学選手権大会への出場権を獲得。
- 総当りリーグ戦において、1～3部の下位4校と2～4部の上位4校が入れ替え戦を実施。
- 総当りリーグ戦の順位決定方法は勝点制度に従う。全試合終了した時点で獲得した勝点が多い学校から上位とする。
勝ち：3点 引分：1点 負け：0点
※獲得した勝点と同点の場合は以下の順序によって順位を決定する
 - 1) 当該校間の勝敗により決定する
 - 2) 当該校のブロック戦全試合における得失点差で決定する
 - 3) 当該校のブロック戦全試合における総得点の多い学校を上位とする
 - 4) 当該校の代表者による抽選によって決定する

第11回 ラクロス全日本大学選手権大会

第30回記念 関西学生ラクロスリーグ戦・男子 [結果]

2019年11月10日現在

1部リーグ

順位	京都	神戸	関西学院	立命館	大阪	関西	大阪教育
3	京都大学	● 2-7	△ 4-4	● 7-9	○ 12-7	○ 10-2	○ 13-0
5	神戸大学	○ 7-2	● 6-7	○ 9-6	● 2-3	● 4-6	○ 6-2
1	関西学院大学	△ 4-4	○ 7-6	○ 5-3	○ 8-1	○ 11-2	○ 6-1
2	立命館大学	○ 9-7	● 6-9	● 3-5	○ 4-3	○ 6-3	○ 7-2
4	大阪大学	● 7-12	○ 3-2	● 1-8	● 3-4	○ 4-1	○ 6-0
6	関西大学	○ 2-10	○ 6-4	● 2-11	● 3-6	● 1-4	○ 2-1
7	大阪教育大学	○ 0-13	● 2-6	● 1-6	○ 2-7	● 0-6	○ 1-2

※ 1~4位はファイナル4準決勝へ
※ 5位神戸大学 / 6位関西大学 / 7位大阪教育大学は2部リーグとの入替戦へ

2部リーグ

順位	京都産業	龍谷	甲南	神戸学院	大阪経済	近畿	大阪市立
1	京都産業大学	○ 9-3	● 3-4	○ 10-4	○ 7-2	○ 7-4	○ 4-0
3	龍谷大学	● 3-9	○ 5-3	○ 7-3	○ 11-0	● 3-4	○ 7-2
4	甲南大学	○ 4-3	● 3-5	○ 4-6	○ 5-4	● 3-9	○ 4-3
5	神戸学院大学	○ 4-10	● 3-7	○ 6-4	○ 2-4	● 2-8	○ 6-2
7	大阪経済大学	● 2-7	○ 0-11	○ 4-5	○ 4-2	○ 1-7	● 5-8
2	近畿大学	○ 4-7	○ 4-3	○ 9-3	○ 8-2	○ 7-1	○ 9-3
6	大阪市立大学	○ 0-4	○ 2-7	○ 3-4	○ 2-6	○ 8-5	○ 3-9

※ 1位京都産業大学 / 2位3位龍谷大学・近畿大学は1部リーグとの入替戦へ / 5位神戸学院大学 / 6位大阪市立大学 / 7位大阪経済大学は3部リーグとの入替戦へ

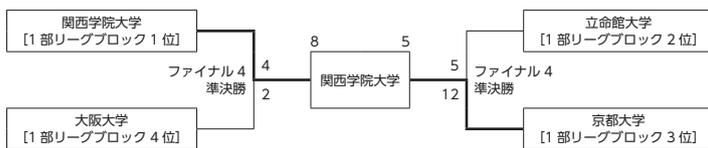
3部リーグ A ブロック

順位	大阪産業	桃山学院	流通科学	同志社
3	大阪産業大学	● 2-4	○ 14-0	● 3-13
2	桃山学院大学	○ 4-2	○ 13-1	○ 0-12
4	流通科学大学	● 0-14	● 1-13	● 1-21
1	同志社大学	○ 13-3	○ 12-0	○ 21-1

3部リーグ B ブロック

順位	京都工芸繊維	佛教	追手門学院	大手前
1	京都工芸繊維大学	○ 7-3	○ 15-3	○ 6-5
4	佛教大学	● 3-7	○ 1-9	● 2-4
2	追手門学院大学	○ 3-15	○ 9-1	○ 5-3
3	大手前大学	○ 5-6	○ 4-2	○ 3-5

1部リーグ：決勝トーナメント【ファイナル4】



1部2部入替戦

神戸大学 [1部リーグブロック5位]	8-3	龍谷大学 [2部リーグブロック3位]
関西大学 [1部リーグブロック6位]	7-2	近畿大学 [2部リーグブロック2位]
大阪教育大学 [1部リーグブロック7位]	3-2	京都産業大学 [2部リーグブロック1位]

3部リーグ：順位決定戦1

同志社大学 [3部リーグAブロック1位]	5-1	京都工芸繊維大学 [3部リーグBブロック1位]
----------------------	-----	-------------------------

2部3部入替戦1

大阪市立大学 [2部リーグブロック6位] (2部リーグ残留)	8-1	京都工芸繊維大学 [3部リーグ総合2位]
--------------------------------	-----	----------------------

2部3部入替戦2

大阪経済大学 [2部リーグブロック7位] (2部リーグ残留)	1-0 (不戦勝)	同志社大学 [3部リーグ総合1位]
--------------------------------	-----------	-------------------

3部リーグ：順位決定戦2

桃山学院大学 [3部リーグAブロック2位]	7-2	追手門学院大学 [3部リーグBブロック2位]
-----------------------	-----	------------------------

2部3部入替戦2

神戸学院大学 [2部リーグブロック5位] (2部リーグ残留)	8-2	桃山学院大学 [3部リーグ総合3位]
--------------------------------	-----	--------------------

大会形式

- ◎各ブロック1回戦総当りのリーグ
- ◎1部リーグのみブロック戦の結果を踏まえ上位4チームで決勝トーナメント(ファイナル4)を行う
 - 準決勝: 1部リーグブロック1位校 vs. 4位校 / 1部リーグブロック2位校 vs. 3位校
 - 決勝: 準決勝勝者 vs. 準決勝勝者
- ◎1部リーグのブロック5位・6位・7位は2部との入替戦へ。
- ◎2部リーグのブロック1位・2位・3位は入替戦へ。
ブロック7位は3部総合1位とブロック6位は3部総合2位とブロック5位は3部総合3位との入替戦へ
- ◎3部リーグの各ブロック1位は順位決定戦を行い勝者は2部ブロック7位と、敗者は2部ブロック6位との入替戦へ。
3部リーグの各ブロック2位は順位決定戦を行い勝者は2部ブロック5位との入替戦へ
- ◎ブロック戦の順位決定方法は勝ち点制度に従う。全試合終了した時点で獲得した勝ち点が多いチームから上位とする
「勝ち: 3点 引分: 1点 負け: 0点」
勝ち点が同一の場合 → 「直接対決の結果(勝ち点)」 → 「得失点差(全試合)」 → 「総得点数」で上位を決定する

第30回記念 関西学生ラクロスリーグ戦・女子 [結果]

2019年11月10日現在

1部リーグ

順位	関西学院	同志社	関西	大阪教育	龍谷	大阪	神戸
1	関西学院大学	○ 9-7	○ 10-2	○ 9-4	○ 14-6	○ 8-4	○ 14-6
2	同志社大学	● 7-9	○ 8-4	○ 17-3	○ 10-9	○ 16-7	● 6-7
3	関西大学	● 2-10	● 4-8	○ 10-8	○ 16-11	○ 15-1	△ 7-7
6	大阪教育大学	● 4-9	● 3-17	● 8-10	● 7-10	○ 14-3	● 6-10
5	龍谷大学	● 6-14	○ 9-10	○ 11-16	○ 10-7	○ 14-8	○ 10-9
7	大阪大学	● 4-8	● 7-16	○ 1-15	● 3-14	● 8-14	● 5-16
4	神戸大学	● 6-14	○ 7-6	△ 7-7	○ 10-6	○ 9-10	○ 16-5

※1~4位はファイナル4準決勝へ
※5位龍谷大学/6位大阪教育大学は2部リーグとの入替戦へ。7位大阪大学は2部リーグへ自動降格。

2部リーグAブロック

順位	近畿	大阪体育	大阪国際	大阪市立	大阪大谷	大阪経済
3	近畿大学	△ 7-7	○ 7-5	● 7-9	○ 12-6	● 6-8
1	大阪体育大学	△ 7-7	○ 9-5	○ 7-3	○ 9-7	○ 11-9
4	大阪国際大学	● 5-7	● 5-9	○ 10-12	○ 13-8	○ 13-8
2	大阪市立大学	○ 9-7	○ 3-7	○ 12-10	○ 10-6	○ 8-7
6	大阪大谷大学	○ 6-12	○ 7-9	○ 8-13	○ 6-10	△ 11-11
5	大阪経済大学	○ 8-6	○ 9-11	○ 8-13	○ 7-8	△ 11-11

※1位大阪体育大学/2位大阪市立大学は2部順位決定戦へ。5位大阪経済大学は3部リーグとの入替戦へ。6位大阪大谷大学は3部リーグへ自動降格。

3部リーグAブロック

順位	神戸女学院	神戸松蔭女子	神戸市外国語	京都橋
1	神戸女学院大学	○ 27-1	○ 21-0	○ 28-1
3	神戸松蔭女子学院大学	● 1-27	○ 11-15	○ 14-5
2	神戸市外国語大学	○ 0-21	○ 15-11	○ 24-5
4	京都橋大学	○ 1-28	○ 5-14	○ 5-24

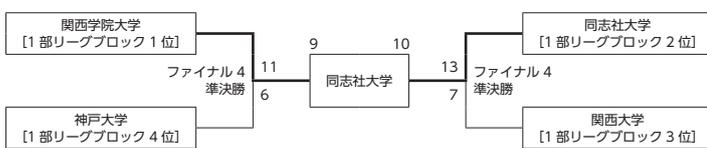
※1位神戸女学院大学/2位神戸市外国語大学は3部リーグ決勝トーナメントへ

3部リーグCブロック

順位	京都女子	同志社女子	奈良女子	神戸女子
1	京都女子大学	○ 12-6	○ 28-4	○ 14-6
2	同志社女子大学	● 6-12	○ 18-5	○ 9-8
4	奈良女子大学	● 4-28	○ 5-18	○ 2-15
3	神戸女子大学	○ 6-14	○ 8-9	○ 15-2

※1位京都女子大学/2位同志社女子大学は3部リーグ決勝トーナメントへ

■ 1部リーグ：決勝トーナメント【ファイナル4】



■ 2部リーグ：上位順位決定戦

大阪体育大学 [2部リーグAブロック1位]	9-8	立命館大学 [2部リーグBブロック1位]
大阪市立大学 [2部リーグAブロック2位]	10-11	武庫川女子大学 [2部リーグBブロック2位]

■ 1部2部入替戦

龍谷大学 (1部リーグ残留) [1部リーグブロック5位]	15-4	武庫川女子大学 [2部リーグ総合3位]
大阪教育大学 (1部リーグ残留) [1部リーグブロック6位]	9-5	立命館大学 [2部リーグ総合2位]

■ 2部3部入替戦

大阪経済大学 [2部リーグAブロック5位]	8-9 (延長)	神戸女学院大学 (2部リーグ昇格) [3部リーグ総合3位]
園田学園女子大学 (2部リーグ残留) [2部リーグBブロック5位]	25-8	京都産業大学 [3部リーグ総合3位]

2部リーグBブロック

順位	立命館	園田学園女子	神戸親和女子	武庫川女子	京都	甲南女子
1	立命館大学	○ 12-8	○ 9-8	△ 9-9	○ 10-7	○ 12-5
5	園田学園女子大学	● 8-12	○ 10-13	○ 9-12	○ 8-17	○ 12-10
4	神戸親和女子大学	○ 8-9	○ 13-10	○ 9-7	○ 8-9	○ 10-5
2	武庫川女子大学	△ 9-9	○ 12-9	○ 7-9	○ 10-9	○ 22-4
3	京都大学	○ 7-10	○ 17-8	○ 9-8	○ 9-10	○ 13-9
6	甲南女子大学	○ 5-12	○ 10-12	○ 5-10	○ 4-22	○ 9-13

※1位立命館大学/2位武庫川女子大学は2部順位決定戦へ。5位園田学園女子大学は3部リーグとの入替戦へ。6位甲南女子大学は3部リーグへ自動降格。

3部リーグBブロック

順位	甲南	佛教	追手門学院	大手前
1	甲南大学	○ 9-6	○ 33-3	○ 28-2
2	佛教大学	○ 6-9	○ 28-2	○ 27-3
3	追手門学院大学	○ 3-33	○ 2-28	○ 15-6
4	大手前大学	○ 2-28	○ 3-27	○ 6-15

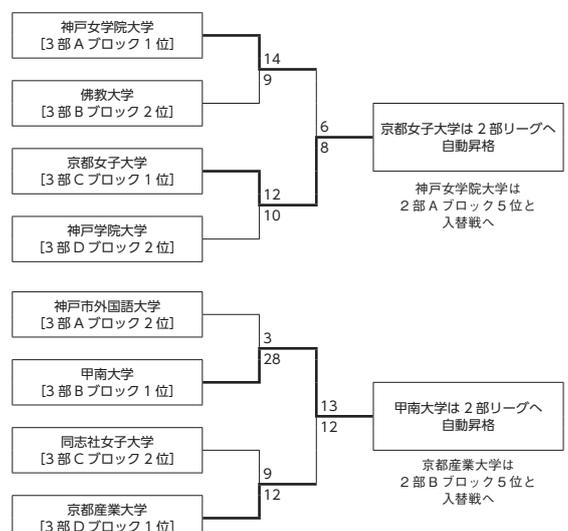
※1位甲南大学/2位佛教大学は3部リーグ決勝トーナメントへ

3部リーグDブロック

順位	京都産業	神戸学院	京都工芸繊維	関西外国語
1	京都産業大学	○ 14-7	○ 19-5	○ 18-7
2	神戸学院大学	○ 7-14	○ 10-9	○ 12-11
4	京都工芸繊維大学	○ 5-19	○ 9-10	○ 5-14
3	関西外国語大学	○ 7-18	○ 11-12	○ 14-5

※1位京都産業大学/2位神戸学院大学は3部リーグ決勝トーナメントへ

■ 3部リーグ順位決定トーナメント



◎1部リーグ7位は自動降格。
◎2部リーグ各ブロック1位と2位は順位決定戦を行い、総合1位は自動昇格、総合2位3位は入替戦へ。
◎3部リーグは各ブロック上位2位までによる決勝トーナメントを行い、3部リーグ総合上位2校は自動昇格。3部リーグ総合3位2校は2部リーグ各ブロック5位と入替戦へ。
◎2部リーグ各ブロック6位は自動降格、各ブロック5位は3部リーグ総合3位(2校)と入替戦へ。

大会形式

◎各ブロック1回戦総当りの予選ブロック
◎1部リーグのみブロック戦の結果を踏まえ上位4チームで決勝トーナメント(ファイナル4)を行う
◎ブロック戦の順位決定方法は勝ち点制度に従う。全試合終了した時点で獲得した勝ち点が多いチームから上位とする
【勝ち:3点 引分:1点 負け:0点】
勝ち点が高い場合は「直接対決の結果(勝ち点)」→「得失点差」→「総得点数」で上位を決定する

第11回 ラクロス全日本大学選手権大会

第28回 東海学生ラクロスリーグ戦・男子 [結果]

2019年11月3日現在

1部リーグ

順位	名城大学	名古屋大学	南山大学	岐阜大学	愛知大学	中京大学
4	名城大学	● 2-4	● 2-5	○ 11-1	△ 8-8	○ 6-1
2	名古屋大学	○ 4-2		● 3-4	○ 5-0	○ 7-0
1	南山大学	○ 5-2	○ 4-3		○ 7-2	● 6-4
6	岐阜大学	● 1-11	● 0-5	● 2-7		● 1-5
5	愛知大学	△ 8-8	● 0-7	● 4-6	○ 5-1	
3	中京大学	● 1-6	● 1-4	○ 3-1	○ 6-1	○ 4-3

1部、2部入替戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
名城大学 [1部4位]	愛知教育大学 [2部3位]	12-2	名城大学
愛知大学 [1部5位]	日本福祉大学 [2部2位]	9-5	愛知大学

準決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
南山大学 [1部1位]	中部大学 [2部1位]	6-4	南山大学
名古屋大学 [1部2位]	中京大学 [1部3位]	2-1	名古屋大学

決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
南山大学 [準決勝勝者]	名古屋大学 [準決勝勝者]	7-5	南山大学

2部リーグ

順位	信州大学	日本福祉大学	中部大学	愛知教育大学	愛知学院大学	滋賀大学	名古屋商科大学
4	信州大学	● 3-7	● 5-6	● 3-5	○ 2-1	○ 10-4	○ 18-3
2	日本福祉大学	○ 7-3		○ 3-9	● 6-5	○ 4-11	○ 6-1
1	中部大学	○ 6-5	○ 9-3		○ 5-3	○ 3-2	○ 13-1
3	愛知教育大学	○ 5-3	● 5-6	● 3-5		○ 5-0	○ 11-0
5	愛知学院大学	● 1-2	○ 11-4	● 2-3	○ 0-5		○ 7-2
6	滋賀大学	● 4-10	● 1-6	● 1-13	○ 0-11	● 2-7	○ 5-2
7	名古屋商科大学	● 3-18	● 1-15	○ 0-21	○ 0-16	○ 0-6	● 2-5

大会形式

- 各リーグ1回戦総当りのリーグ
- 1部リーグ1位 vs.2部リーグ1位、1部リーグ2位 vs.1部リーグ3位で準決勝を行い各試合の勝者が決勝戦に進む。
- 決勝戦の勝者が本年度の優勝校。優勝校が第11回全日本ラクロス大学選手権大会への出場権を得る。
- 1部リーグ6位は自動降格で来年度2部。
- 1部リーグ4位 vs.2部リーグ3位、1部リーグ5位 vs.2部リーグ2位で入替戦を行う。2部リーグ1位(自

- 動昇格)と入替戦の勝者が来年度1部。
- 各リーグの順位決定方法は勝ち点制度に従う。全試合終了した時点で獲得した勝ち点が多いチームから上位とする。
- 【勝ち:3点 引分:1点 負け:0点】
- 勝ち点が同一の場合→「直接対決の結果」→「得失点差(全試合)」→「総得点(全試合)」→「抽選」で上位を決定する

第28回 東海学生ラクロスリーグ戦・女子 [結果]

2019年11月3日現在

1部リーグ

順位	愛知学院大学	金城学院大学	至学館大学	南山大学	愛知淑徳大学	名古屋大学	愛知教育大学	中京大学
6	愛知学院大学	● 8-16	● 11-13	● 3-12	○ 9-11	● 7-8	● 6-8	○ 9-5
5	金城学院大学	○ 16-8		○ 11-3	○ 5-17	○ 7-5	○ 4-5	○ 9-11
2	至学館大学	○ 13-11	● 3-11		○ 1-18	○ 16-4	○ 10-4	○ 8-7
1	南山大学	○ 12-3	○ 17-5	○ 18-1		○ 21-4	○ 15-4	○ 12-4
8	愛知淑徳大学	○ 11-9	● 5-7	● 4-16	● 4-21		● 8-10	● 7-12
4	名古屋大学	○ 8-7	○ 5-4	● 4-10	● 4-15	○ 10-8		○ 7-19
3	愛知教育大学	○ 8-6	○ 11-9	● 7-8	○ 4-12	○ 12-7	○ 19-7	○ 15-6
7	中京大学	● 5-9	● 5-10	● 9-12	● 6-12	○ 10-7	● 6-10	● 6-15

1部、2部入替戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
愛知学院大学 [1部6位]	岐阜大学 [2部3位]	15-6	愛知学院大学
中京大学 [1部7位]	福山女学園大学 [2部2位]	13-3	中京大学

準決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
南山大学 [1部1位]	信州大学 [2部1位]	15-5	南山大学
至学館大学 [1部2位]	愛知教育大学 [1部3位]	6-13	愛知教育大学

決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
南山大学 [準決勝勝者]	愛知教育大学 [準決勝勝者]	12-11	南山大学

2部リーグ

順位	信州大学	日本福祉大学	福山女学園大学	岐阜大学	愛知大学	名城大学	滋賀大学	名古屋外国語大学	中部大学
1	信州大学	○ 15-4	○ 10-3	○ 11-2	○ 17-4	○ 13-1	○ 24-1	○ 21-3	
5	日本福祉大学	● 4-15		● 2-14	● 5-9	● 8-11	○ 12-3	○ 13-5	
2	福山女学園大学	● 3-10	○ 16-1		○ 10-7	○ 17-1	○ 22-1	○ 16-4	
3	岐阜大学	○ 2-11	○ 14-2	△ 10-10		○ 12-5	○ 17-7	○ 23-0	
4	愛知大学	○ 4-17	○ 9-5	○ 7-10	○ 5-12		○ 8-4	○ 8-4	
6	名城大学	○ 1-13	○ 11-8	○ 1-17	○ 7-17	○ 4-8		○ 8-5	
8	滋賀大学	○ 1-24	○ 3-12	○ 1-22	○ 0-23	○ 4-8	○ 5-8		○ 5-6
7	名古屋外国語大学	○ 3-21	○ 5-13	○ 4-16	○ 4-17	○ 3-11	○ 6-3	○ 6-5	
	中部大学								

※中部大学は8/7に試合放棄の意志表明を行ったため大会規約第21条に則り公式記録を抹消

大会形式

- 各リーグ1回戦総当りのリーグ。
- 1部リーグ1位 vs.2部リーグ1位、1部リーグ2位 vs.1部リーグ3位で準決勝を行い各試合の勝者が決勝戦に進む。
- 決勝戦の勝者が本年度の優勝校。
- 優勝校が第11回ラクロス全日本大学選手権大会への出場権を得る。
- 1部リーグ8位は自動降格で来年度2部。

- 1部リーグ6位 vs.2部リーグ3位、1部リーグ7位 vs.2部リーグ2位で入替戦を行う。2部リーグ1位(自動昇格)と入替戦の勝者が来年度1部。
- 各リーグの順位決定方法は勝ち点制度に従う。全試合終了した時点で獲得した勝ち点が多いチームから上位とする。
- 【勝ち:3点 引分:1点 負け:0点】
- 勝ち点が同一の場合→「直接対決の結果」→「得失点差(全試合)」→「総得点(全試合)」→「抽選」で上位を決定する

第25回 北海道学生ラグロスリーグ戦・男子 [結果]

2019年10月12日現在

順位	北海道大学	北海学園大学	北星学園大学	小樽商科大学	北海道科学大学	札幌学院大学	北翔大学
1	北海道大学	○	○	○	○	○	●
2	北海学園大学	●	○	○	○	○	○
4	北星学園大学	●	●	○	○	○	○
5	小樽商科大学	●	○	○	○	○	○
6	北海道科学大学	●	○	○	○	○	○
7	札幌学院大学	○	○	○	○	○	○
3	北翔大学	○	○	○	○	○	○

決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
北海道大学 [リーグ1位]	北海学園大学 [リーグ2位]	6-1	北海道大学

大会形式

- ◎総当りのリーグ。
 - ◎リーグの上位2校で決勝戦を行う。
 - ◎優勝校が第11回ラグロス全日本大学選手権大会への出場権を獲得。
 - ◎総当りリーグ戦の順位決定方法は勝点制度に従う。全試合終了した時点で獲得した勝点が多い学校から上位とする。
- 勝ち：3点 引分：1点 負け：0点

- ※獲得した勝点が同点の場合は以下の順序によって順位を決定する
- 1) 当該校間の勝敗により決定する
 - 2) 当該校のブロック戦全試合における得失点差で決定する
 - 3) 当該校のブロック戦全試合における総得点の多い学校を上位とする
 - 4) 当該校の代表者による抽選によって決定する

第25回 北海道学生ラグロスリーグ戦・女子 [結果]

2019年10月12日現在

順位	北翔大学	北海道大学	酪農学園大学	北海道教育大学	北星学園大学	藤女子大学	北海学園大学
2	北翔大学	△	○	○	○	○	○
1	北海道大学	△	○	○	○	○	○
4	酪農学園大学	●	○	○	○	○	○
3	北海道教育大学	●	○	○	○	○	○
5	北星学園大学	●	○	○	○	○	○
6	藤女子大学	○	○	○	○	○	○
7	北海学園大学	○	○	○	○	○	○

決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
北海道大学 [リーグ1位]	北翔大学 [リーグ2位]	10-7	北海道大学

大会形式

- ◎総当りのリーグ。
 - ◎リーグの上位2校で決勝戦を行う。
 - ◎優勝校が第11回ラグロス全日本大学選手権大会への出場権を獲得。
 - ◎総当りリーグ戦の順位決定方法は勝点制度に従う。全試合終了した時点で獲得した勝点が多い学校を上位とする。
- 勝ち：3点 引分：1点 負け：0点

- ※獲得した勝点が同点の場合は以下の順序によって順位を決定する
- 1) 当該校間の勝敗により決定する
 - 2) 当該校のブロック戦全試合における得失点差で決定する
 - 3) 当該校のブロック戦全試合における総得点の多い学校を上位とする
 - 4) 当該校の代表者による抽選によって決定する

第26回 東北学生ラグロスリーグ戦・男子 [結果]

2019年10月12日現在

順位	東北	岩手	新潟	東北学院	東北福祉	福島	日本 (工学部)
1	東北大学	○	○	○	○	○	○
3	岩手大学	●	○	○	○	○	○
2	新潟大学	○	○	○	○	○	○
4	東北学院大学	○	○	○	○	○	○
6	福島大学	○	○	○	○	○	○
5	日本大学工学部	○	○	○	○	○	○

※東北福祉大学は試合放棄の意志表明を行ったため、大会規約に則り公式記録抹消

FINAL3

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
新潟大学 [リーグ2位]	岩手大学 [リーグ3位]	4-5	岩手大学

FINAL

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
東北大学 [リーグ1位]	岩手大学 [FINAL3勝者]	8-5	東北大学

大会形式

- ◎全チーム総当たり戦で行う。ただし、HOME & AWAY形式はユニフォームだけの適応であり、試合会場には影響しない。
- ◎リーグ2位、3位で試合 [FINAL3] を行い、その勝利チームとリーグ1位チームにより、決勝戦を行う。優勝校が第11回ラグロス全日本大学選手権大会2地区予選への出場権を獲得。
- ◎総当りリーグ戦の順位決定方法は勝点制度に従う。全試合終了した時点で獲得した勝点が多い学校から上位とする。

- 勝ち：3点 引分：1点 負け：0点
- ※獲得した勝点が同点の場合は以下の順序によって順位を決定する
- 1) 当該チームの間の勝敗により決定する。
 - 2) 当該チームのリーグ全試合における得失点差で決定する。
 - 3) 当該チームのリーグ全試合における総得点の多いチームを上位とする。
 - 4) 当該チームの代表者1名による抽選によって決定する。
- ※(2)(3)の段階で順位決定をする際には、不戦敗したチームの試合結果はすべて考慮しないものとする。

第26回 東北学生ラグロスリーグ戦・女子 [結果]

2019年10月12日現在

順位	東北	宮城学院女子	新潟	岩手	東北福祉	福島	東北学院	新潟県立
2	東北大学	○	○	○	○	○	○	○
1	宮城学院女子大学	●	○	○	○	○	○	○
3	新潟大学	○	○	○	○	○	○	○
4	岩手大学	○	○	○	○	○	○	○
5	東北福祉大学	○	○	○	○	○	○	○
6	福島大学	○	○	○	○	○	○	○
7	東北学院大学	○	○	○	○	○	○	○

FINAL3

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
東北大学 [リーグ2位]	新潟大学 [リーグ3位]	12-8	東北大学

FINAL

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
宮城学院女子大学 [リーグ1位]	東北大学 [FINAL3勝者]	7-5	宮城学院女子大学

大会形式

- ◎全チーム総当たり戦で行う。ただし、HOME & AWAY形式はユニフォームだけの適応であり、試合会場には影響しない。
- ◎リーグ2位、3位で試合 [FINAL3] を行い、その勝利チームとリーグ1位チームにより、決勝戦を行う。優勝校が第11回ラグロス全日本大学選手権大会2地区予選への出場権を獲得。
- ◎総当りリーグ戦の順位決定方法は勝点制度に従う。全試合終了した時点で獲得した勝点が多い学校から上位とする。

- 勝ち：3点 引分：1点 負け：0点
- ※獲得した勝点が同点の場合は以下の順序によって順位を決定する
- 1) 当該チームの間の勝敗により決定する。
 - 2) 当該チームのリーグ全試合における得失点差で決定する。
 - 3) 当該チームのリーグ全試合における総得点の多いチームを上位とする。
 - 4) 当該チームの代表者1名による抽選によって決定する。
- ※(2)(3)の段階で順位決定をする際には、不戦敗したチームの試合結果はすべて考慮しないものとする。

第11回 ラクロス全日本大学選手権大会

第27回 中四国学生ラクロスリーグ戦・男子 [結果]

2019年11月2日現在

中国ブロック

順位	岡山大学	山口大学	広島大学	川崎医療福祉	広島修道大学	島根大学
1	岡山大学	○ 9-2	○ 9-2	○ 6-4	○ 12-2	○ 10-1
2	山口大学	● 2-9	○ 7-2	△ 7-7	○ 10-0	○ 9-0
3	広島大学	● 2-9	● 2-7	○ 5-2	○ 12-1	○ 7-2
4	川崎医療福祉大学	● 4-6	△ 7-7	● 2-5	○ 5-2	○ 9-6
6	広島修道大学	● 2-12	○ 0-10	● 1-12	● 2-5	● 1-4
5	島根大学	○ 1-10	○ 0-9	● 2-7	○ 6-9	○ 4-1

四国ブロック

順位	松山大学	徳島大学	愛媛大学	香川大学
2	松山大学	● 2-5	○ 5-2	○ 6-2
1	徳島大学	○ 5-2	○ 11-0	○ 9-1
4	愛媛大学	● 2-5	○ 0-11	○ 3-5
3	香川大学	● 2-6	○ 1-9	○ 5-3

準決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
岡山大学 [中国ブロック1位]	松山大学 [四国ブロック2位]	5-3	岡山大学
徳島大学 [四国ブロック1位]	山口大学 [中国ブロック2位]	4-3	徳島大学

決勝戦

HOME	AWAY	スコア	勝利チーム
岡山大学 [準決勝①勝者]	徳島大学 [準決勝②勝者]	3-5	徳島大学

■決勝トーナメント【FINAL4】



第27回 中四国学生ラクロスリーグ戦・女子 [結果]

2019年10月19日現在

中国Aブロック

順位	広島大学	山口大学	安田女子大学	山口県立大学
1	広島大学	○ 12-7	○ 14-5	○ 25-1
3	山口大学	● 7-12	○ 11-13	○ 24-2
2	安田女子大学	● 5-14	○ 13-11	○ 28-1
4	山口県立大学	● 1-25	● 2-24	○ 1-28

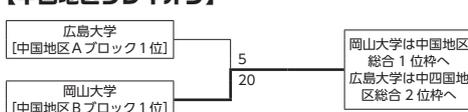
中国Bブロック

順位	岡山大学	川崎医療福祉	島根大学	広島修道大学
1	岡山大学	○ 24-2	○ 31-1	○ 26-2
3	川崎医療福祉大学	● 2-24	△ 16-16	● 5-14
4	島根大学	● 1-31	△ 16-16	● 5-14
2	広島修道大学	● 2-26	○ 14-5	○ 14-5

四国ブロック

順位	愛媛大学	徳島大学	松山大学	高知大学
1	愛媛大学	○ 8-5	○ 21-4	○ 25-5
2	徳島大学	● 5-8	○ 17-2	○ 22-1
3	松山大学	● 4-21	● 2-17	○ 16-9
4	高知大学	● 5-25	● 1-22	○ 9-16

【中国地区プレイオフ】



【決勝トーナメント】(FINAL4)



第28回 九州学生ラクロスリーグ戦・男子 [結果]

2019年11月2日現在

1部リーグ

順位	九州大学	北九州市立	西南学院	福岡大学
1	九州大学	△ 6-6	○ 9-5	○ 6-5
4	北九州市立大学	△ 6-6	○ 4-5	○ 5-3
3	西南学院大学	○ 5-9	○ 5-4	○ 2-5
2	福岡大学	○ 5-6	○ 3-5	○ 5-2

2部リーグ

順位	中村学園	APU	久留米大学	鹿児島大学
1	中村学園大学	○ 4-3	○ 8-0	○ 18-1
2	立命館アジア太平洋大学	● 3-4	○ 4-2	○ 8-1
3	久留米大学	○ 0-8	● 2-4	○ 7-1
4	鹿児島大学	○ 1-18	○ 1-8	○ 1-7

※1位の中村学園大学は、1部リーグに自動昇格 (1部リーグの九州産業大学の参加取りやめのため)

■決勝トーナメント【1部リーグ FINAL3】



第28回 九州学生ラクロスリーグ戦・女子 [結果]

2019年11月2日現在

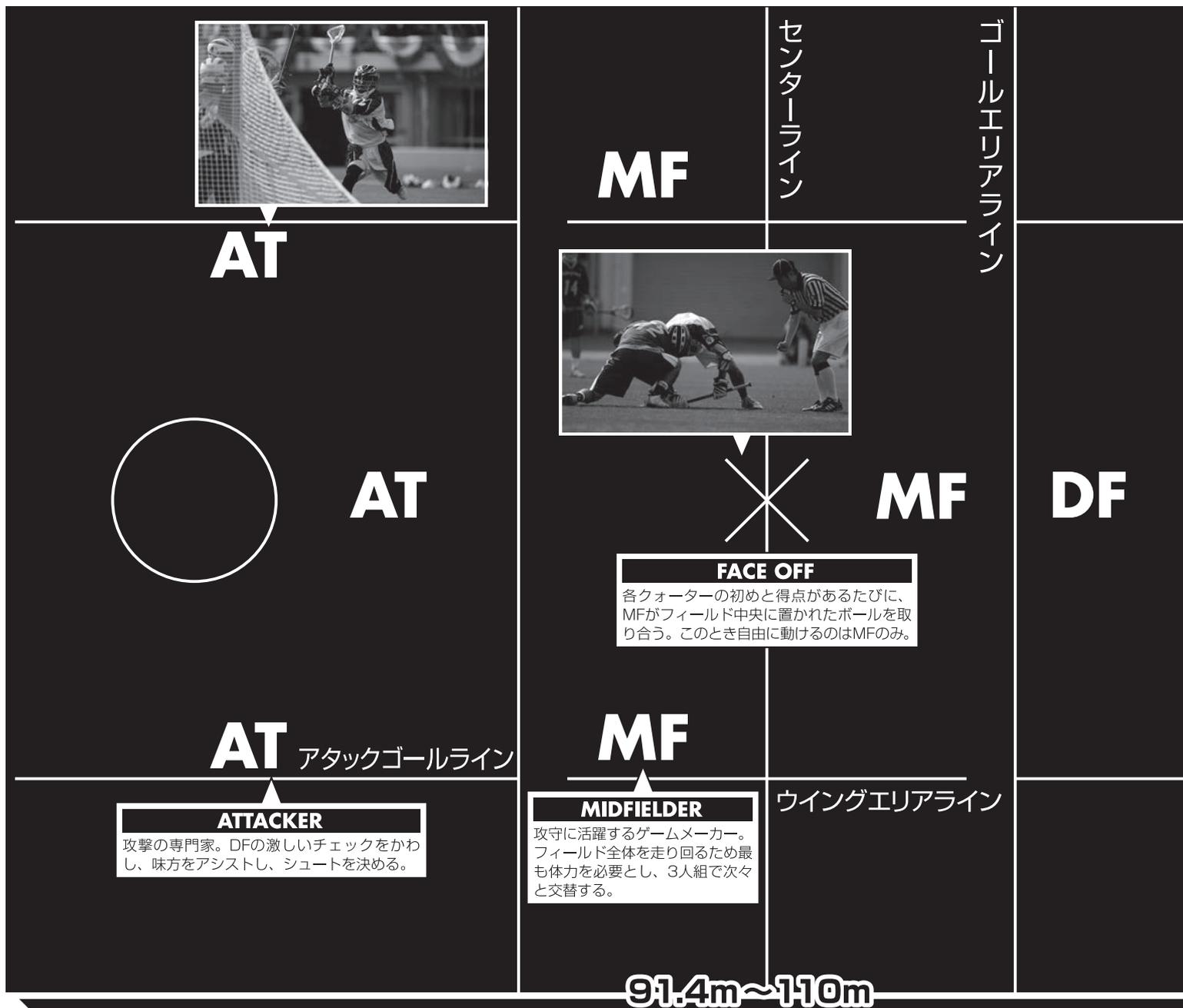
順位	福岡大学	福岡教育大学	福岡女学院	筑紫女学園	中村学園大学	西南学院大学	九州大学	北九州市立	久留米大学
1	福岡大学	○ 12-9	○ 14-4	○ 8-4	○ 15-5	○ 13-11	○ 11-6	○ 23-3	○ 23-2
4	福岡教育大学	● 9-12	○ 15-6	○ 11-9	○ 11-12	○ 8-9	○ 9-8	○ 24-3	○ 29-1
7	福岡女学院大学	● 4-14	● 6-15	○ 5-17	○ 10-14	○ 7-10	○ 3-23	○ 22-4	○ 16-7
2	筑紫女学園大学	● 4-8	○ 9-11	○ 17-5	○ 11-7	○ 14-13	○ 11-7	○ 20-8	○ 26-2
6	中村学園大学	○ 5-15	○ 12-11	○ 14-10	○ 7-11	○ 10-14	○ 14-15	○ 13-3	○ 20-8
3	西南学院大学	○ 11-13	○ 9-8	○ 10-7	○ 13-14	○ 14-10	○ 10-10	○ 22-2	○ 18-8
5	九州大学	○ 6-11	○ 8-9	○ 23-3	○ 7-11	○ 15-14	○ 10-10	○ 23-4	○ 25-7
9	北九州市立大学	○ 3-23	○ 3-24	○ 4-22	○ 8-20	○ 3-13	○ 2-22	○ 4-23	○ 5-11
8	久留米大学	○ 2-23	○ 1-29	○ 7-16	○ 2-26	○ 8-20	○ 8-18	○ 7-25	○ 11-5

■決勝トーナメント【FINAL3】



MEN'S RULE 男子ルール

FIELD SIZE/POSITION



PENALTY

テクニカルファウル	ファウルを受けた選手がボールを持っている	30秒間の退場
	ファウルを受けた選手がボールを持っていない	相手チームボール
パーソナルファウル	ファウルを受けた選手がボールを持っている/持っていないに関係なく	1, 2, 3分間の退場

目にも止まらぬ 地上最速格闘球技!!!

男子ラクロスは両チーム10人で、15分×4クォーターで行われます。スティック(クロス)を使って、華麗にボールをさばき、はやく大きな試合展開。ボディチェックも含む激しさが男子ラクロスの醍醐味です。

DEFENDER

守りの専門家。地味ではあるが重要なポジション。鋭いチェックと激しいボディチェックが持ち味。長いスティック(約180cm)を使用。

DF

GOALKEEPER

守りの要でディフェンスの司令塔。ヘッドの大きなスティックを使い、時には150km/hにもなるシュートをとめる。

ゴール

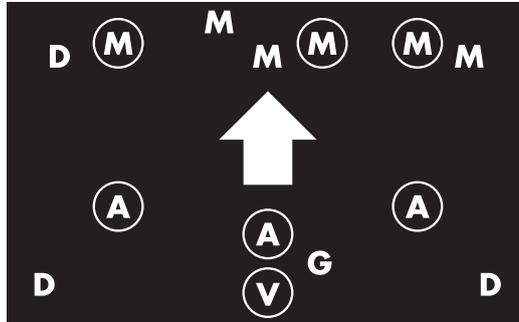


DF



48m~60m

■クリア・ライド



○つき=ライド ○なし=クリア

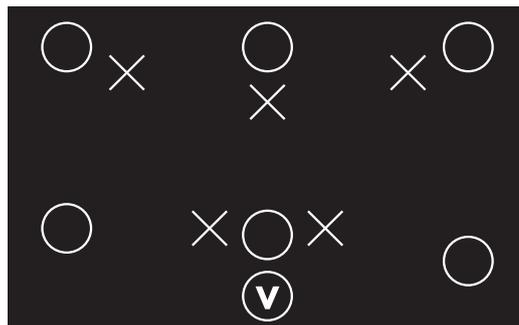
◆クリア

ディフェンス側でボールをオフェンス側に運ぶこと。

◆ライド

相手チームのクリアを妨げるディフェンス。

■マンアップ・マンダウン



○=オフェンス X=ディフェンス

ファウルに伴う退場があると、ディフェンス側は、退場した分だけ少ない人数で守らなければならない。このときのディフェンスをマンダウンディフェンス、オフェンス側をマンアップオフェンス(エキストラマンオフェンス)と呼ぶ。

FOUL PENALTY

プッシング

相手選手を過剰な力で押したり、後ろから押すこと。



トリッピング

相手選手の足をスティックや足でひっかけること。



オフサイド

ボールがあるエリアにペナルティボックスを含めて攻撃陣が7人以上、守備陣が8人以上いること。



スラッシング

相手の頭や身体の一部をスティックで叩くこと。



INFO

■チェイス

シュートしたボールがゴールの枠に入らず、サイドライン、エンドラインを越えた場合には、ボールがラインを越えた時点でボールに一番近い選手側のチームのボールになる。自チームのボールにするため、シュートされたボールを追うことを「チェイス」という。

■クレードリング

ボールを相手選手に奪われないために、ボールをスティック(クロス)のポケットの中で揺らせ遠心力でスティックのネットに張りつけること。

■フライ

選手交替をすること。ゲームメーカーであるミッドフィールダーはフィールド内を縦横無尽に動き回るので体力的に負担が大きい。そのため2~3分おきに交替する。

■ボディチェック

グラウンドボールの時、ボールから半径2.7m以内にいるプレイヤーに対して、ボールを持っている、持っていないにかかわらずボディチェックが許される。ボールが転がった時、ボールを取りに行く選手と、それを援護すべく相手選手に当たりに行く選手に分かれる。これも男子ラクロスの醍醐味だ!

創部年度	1988 年
部員数	141 名
主将	青木 俊汰
ヘッドコーチ	山本 大介
全日本大学選手権出場回数	2 年連続 5 回目



注目選手

今年の早稲田の目標は全日本選手権優勝です。自分にできることを全うし、スローガンにも掲げている早稲田の WAVE の一員として相手を圧倒します。そして早稲田のチーム力を見せつけまずは大学選手権で優勝し、全日本選手権に繋がります。応援宜しくお願い致します。



宮脇 昇汰
2 年 早稲田大学高等学院卒

WAVE

私たち早稲田大学体育会ラクロス部男子は「WAVE」というスローガンを掲げながら、目標である全日本選手権優勝に向かってこれまで駆け抜けてきました。スローガンである「WAVE」には、一人ひとりが勝利のために何ができるかを考え、主体的に動くことで「小さな波」となること。そして、その波を集約することで「大きな波」となり。観客を巻き込みながら、対戦相手をのみこんでいこうという想いを込めています。プレー以外でも日本一にふさわしい組織になるべく、熱く泥臭く、真摯に取り組んでまいりました。関東の多くの大学の想いを背負いながら大学選手権 2 連覇に向けて戦い、会場に早稲田の WAVE を起こします。応援のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

コーチ



山本 大介

早稲田大卒
29 歳・ラクロス歴 11 年

関東の代表として誇りと責任を胸に、全力で戦います。グラウンド内外を問わず、部員 1 人 1 人がやるべきことを考え、全うし、2011 年以來の大学選手権連覇を目指します。早稲田ラクロスへの温かいご声援を宜しくお願い致します。



0 AT

岡田 康平

4年 早稲田実業高卒



1 DF

中島 大介

4年 早稲田実業高卒



2 DF

山田 信平

4年 渋谷教育学園渋谷高卒



3 MF/FO

鈴木 雄大

4年 国立高卒



4 MF

本間 陽介

4年 麻布高卒



5 MF

丸田 敦司

3年 早稲田大学本庄高等学院卒



6 DF

大野木 貴裕

4年 海城高卒



CAP. 7 AT

青木 俊汰

4年 早稲田大学高等学院卒



9 DF

平塚 弘喜

3年 早稲田大学高等学院卒



10 G

勝本 勇人

4年 早稲田大学高等学院卒



11 MF

永井 俊輔

4年 早稲田実業高卒



13 MF

中小路 涉

4年 川越高卒



14 MF/FO

小林 義直

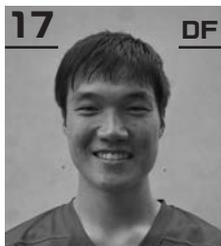
3年 早稲田大学高等学院卒



15 MF/FO

深谷 映

3年 American Embassy School of New Delhi 卒



17 DF

琴野 大輝

4年 早稲田実業高卒



21 DF

奈須 由樹

3年 早稲田実業高卒



23 MF

半場 涼介

4年 東大和南高卒



24 AT

小林 大祐

3年 早稲田高卒



25 DF

茅野 城大

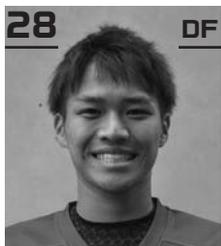
3年 早稲田実業高卒



26 MF

小野 泰輔

4年 早稲田実業高卒



28 DF

井手 脩人

3年 東邦大学附属東邦高卒



33 MF

中山 巧

4年 長崎東高卒



40 MF

竹田 圭佑

3年 松山東高卒



43 AT

大村 雄太郎

4年 早稲田大学高等学院卒



50 AT

北野 夏飛人

2年 明星高卒



51 MF

竹内 凜

3年 早稲田大学高等学院卒



56 AT

白井 康

2年 早稲田実業高卒



72 G

佐藤 真

3年 早稲田大学高等学院卒



74 MF

小野 弘晴

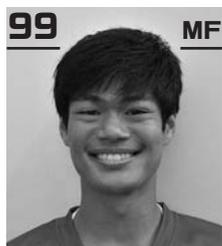
3年 早稲田大学高等学院卒



91 DF

青木 秀斗

4年 城北高卒



99 MF

清水 俊克

4年 早稲田大学高等学院卒



GM

嶋田 雄二

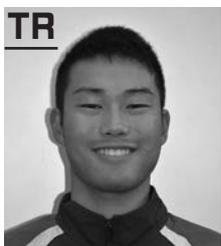
早稲田大卒



AC

荻原 史暁

早稲田大卒



TR

千葉 暁

4年 開智高卒



MG

黒木 菜々美

4年 頌栄女子学院高卒



MG

齋藤 優太郎

4年 早稲田実業高卒

関西学院大学

JLA 公式サイト

全部員のリストを
JLA 公式サイトで
紹介しています

創部年度	1989年
部員数	110名
主将	金丸周平
ヘッドコーチ	林貴人
全日本大学選手権出場回数	5年ぶり3回目



注目選手

僕は先輩と1番長くラクロスするという目標を今年1年ラクロスに取り組んできました。これまでたくさん先輩に支えてもらってきたので、この大学選手権で必ず恩返します!!

また関学ラクロスや僕自身を支えてくださる全ての方に感謝してプレーします!

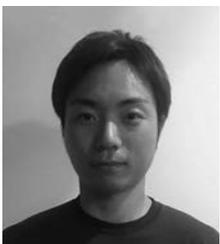


勝浦 友貴
3年 北須磨高卒

轍~ALL BLUE~

「学生日本一」を目指し、日々練習に励んできました。春シーズンでは納得のいく結果が残せず、悔しい思いをしました。だからこそ常に挑戦者であり続けることができ、チームの成長に繋がりました。轍をスローガンに、先輩方が築いて下さった軌跡を辿り、新たな歴史を創りあげ、強い関学を受け継いでいきます。また、カテゴリーを超え、Bチーム、1回生チーム、そしていつも支えて下さる OBG や保護者の方々を巻き込んで、ALL BLUE を体現し、勝利を掴みます。

コーチ



林 貴人

慶應義塾大卒
27歳・ラクロス歴9年
勤務先：野村證券株式会社

今年度より HC を務める林です。今年度の関学ラクロス部はこの大学選手権で優勝するため、様々な準備をしてきました。シーズン序盤から、上手いかわない自分たちを何度も見つめ直し、一步一步前に進んできました。あらゆる面で実力と自信をつけ、最高の状態で戦えると思います。関学が初の学生日本一を奪い取るため、最後まで尽力したいと思います。



0 MF
藤井 琢光
4年 桜塚高卒



1 AT
武藤 玄弥
3年 関西学院高卒



3 AT
石村 旗大
4年 三田学園高卒



4 MF
飯田 優気
4年 関西学院高卒



5 AT
岡田 健
2年 関西学院高卒



9 DF
石田 宗一郎
4年 御影高卒



10 MF
中谷 悠斗
2年 桜宮高卒



12 DF
平田 壮
3年 三木高卒



13 DF
阪本 直輝
2年 関西学院高卒



14 G
田中 駿
3年 関西学院高卒



15 G
小田 祐之介
4年 関西学院高卒



17 DF
鈴木 悠介
3年 啓明学院高卒



18 MF
宮北 奨大
3年 関西学院高卒



20 FO
向 芳輝
4年 関西学院高卒



21 MF
川瀬 陽大
4年 関西学院高卒



23 MF
下司 曜平
4年 桜塚高卒



CAP.
24 MF
金丸 周平
4年 関西学院高卒



26 FO
植田 悠馬
3年 半田高卒



31 AT
金 俊碩
2年 横須賀学院高卒



32 MF
高野 順平
2年 三田学園高卒



39 MF
有澤 嵩
2年 甲山高卒



42 MF
細江 泰治
4年 関西学院高卒



43 DF
鳴海 諒
4年 和泉高卒



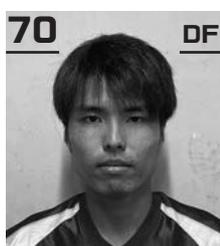
47 DF
伊東 駿也
4年 関西学院高卒



49 LMF
鈴木 勤太郎
3年 関西学院高卒



55 MF
北澤 航士朗
3年 関西学院高卒



70 DF
中塚 直哉
2年 三田学園高卒



77 LMF
花里 知拓
3年 加古川北高卒



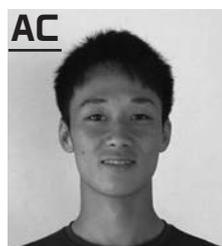
89 AT
中澤 裕哉
4年 三田祥雲館高卒



AC
白井 聡
慶應義塾大卒



AC
北川 拓
慶應義塾大卒



AC
阿萬野 友昭
関西学院高卒



TR
山崎 龍斗
4年 舞子高卒



TR
芝 伊織
3年 一条高卒



MG
山口 実央
4年 帝塚山学院高卒



MG
アンダーウッド ゆかり
4年 横浜国際高卒

創部年度	1992年
部員数	80名
主将	岡田海斗
ヘッドコーチ	島田智也
全日本大学選手権出場回数	2年ぶり3回目



注目選手

試合では勝ちにこだわって悔いの残らないようにしたいです。日頃色々な事を教えてください先輩やコーチの方への感謝の気持ちを忘れずに、自分たちの力を信じて戦い抜きたいと思います。応援よろしくお願いします。



鈴木 陸斗
2年 松蔭高校卒

GLORIA 栄光

大学選手権決勝進出。今まで、東海地区男子チームの誰も立ったことのない舞台に立つため、チーム一丸となって練習に励んできました。そしてチームスローガンに「GLORIA」を掲げ、基礎に立ち返り、個人の力を限界まで高めてきました。あとはそれを一つにして、この舞台にぶつけるだけ。勝利しか見えていません。全力で走り切って、勝利し、歴史を変えます。

コーチ



島田 智也

南山大学卒
36歳・ラクロス歴18年
勤務先：名古屋市役所

母校のコーチとして2年目。頼もしい学生のみんなにここまで連れてきてもらいました。個人的には久しぶりの全国の舞台、自分が一番楽しめます。今年のスローガンは「GLORIA」。栄光を勝ち取るため、支えてくださる全ての皆様への感謝の気持ち、東海地区、南山大学の代表としての誇りを持って、全員で、さあいこう。



0 AT

渡邊 迅

3年 多治見北高卒



1 G

伊藤 亘

3年 松蔭高卒



3 AT

野々部 颯

2年 松蔭高卒



4 MF

吉田 晃大

3年 岐山高卒



5 AT

竹田 駿悟

3年 五条高卒



6 MF

白木 大地

3年 愛工大名電高卒



8 DF

表木 寛生

3年 一宮西高卒



9 AT

高岡 遼

2年 安城東高卒



10 DF

小林 健生

3年 名東高卒



14 MF

金森 優太郎

4年 可児高卒



15 G

都築 由馬

4年 岡崎北高卒



16 DF

荻野 将伍

3年 日進西高卒



17 MF

鈴木 幹也

3年 名東高卒



18 MF

末廣 太一

2年 刈谷北高卒



26 FO

笹野 雄斗

3年 長良高卒



28 MF

青山 凌

3年 松蔭高卒



29 MF

小栗 一輝

2年 豊田北高卒



31 MF

浅井 佑太

4年 昭和 high school graduate



32 MF

中陣 健太郎

3年 名経大市邨高卒



34 FO

家木 笙太

2年 豊田北高卒



37 FO

神田 佑介

4年 天白高卒



51 LMF

長岡 祐輔

4年 可児高卒



65 DF

飼沼 雅大

4年 名古屋大谷高卒



66 AT

村上 哲

4年 東高卒



69 DF

藤田 大輝

4年 帝京可児高卒



81 LMF

加藤 豪

3年 清林館高卒



CAP. 99 MF

岡田 海斗

4年 江南高卒



AC

清家 悟

日本福祉大学卒



AC

池田 一陽

南山大学卒



TR

相田 真理子

3年 名東高卒



MG

日比野 文香

4年 春日井高卒



MG

吉野 綾花

4年 小牧南高卒



MG

後藤 佑佳

4年 小牧南高卒



MG

内藤 優佳

4年 南山国際高卒



ST

水田 洋平

名古屋大卒



ST

原 祥太郎

トライデントスポーツ医療看護
専門学校卒

北海道大学

JLA 公式サイト

全部員のリストを
JLA 公式サイトで
紹介しています

創部年度 1995 年

部員数 86 名

主将 斎藤 玄一

ヘッドコーチ 堀井 風葉

全日本大学選手権出場回数 5 年連続 7 回目



注目選手

まず初めに今年も全日本大学選手権大会に出場できることを本当に嬉しく思います。

これまでの道のりは決して楽ではありませんでしたが、様々な方々からの応援のもと、ようやく今年もこの舞台に立つことができました。だからこそ今年には応援して頂いている方々の期待にそえるように、必ず試合で点をとって、勝利し、関西に挑戦します。



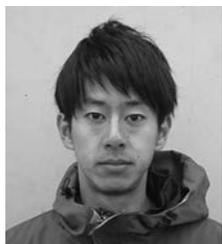
小熊 多佳史

3年 江戸川学園取手高卒

RALLY

北大男子ラクロス部は今年で創部 24 年を迎えました。その歴史の中で私たちは未だ全日本大学選手権一回戦の壁を超えられていません。今年は新たなスローガンに「rally」を掲げ、北大男子ラクロス部史上一度も成し遂げられていない全国 1 勝を今年こそ達成するために部員一人ひとりがラクロスに本気で向き合いお互いを高めあってきました。北大の歴史を、そして北海道地区の歴史を塗り替えるべく、今年こそは必ず勝利を掴み取ります！ 応援よろしくお祈りします！

コーチ



堀井 風葉

北海道大卒
24 歳・ラクロス歴 6 年
勤務先：北海道大学大学院

平素より北海道大学男子ラクロス部を応援していただきありがとうございます。今年度、当部は「rally」のスローガンの下、「全国一勝」を目標に掲げ日々活動しております。北大男子ラクロス部の歴史を塗り替えるため、部員一丸となって全日本大学選手権一回戦に臨みますので、ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。



0 AT
深栖 啓
4年 北野高卒



1 DF
須藤 朋希
3年 山形東高卒



2 DF
奥勝 也
4年 盛岡第一高卒



3 G
小田 幹久
3年 新潟南高卒



4 MF
福家 悠太
4年 札幌開成高卒



5 MF
青木 康汰
3年 札幌北高卒



6 MF
岸田 隆志
3年 江戸川学園取手高卒



7 MF
河西 洸紀
4年 浜松北高卒



8 MF
加藤 義人
4年 宝塚北高卒



9 DF
西澤 一希
4年 長野高卒



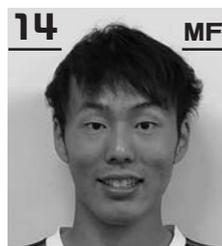
10 MF
澤村 飛龍
4年 渋谷教育学園幕張高卒



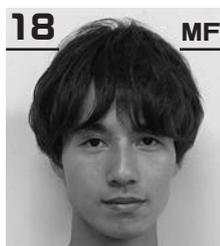
11 MF
垣谷 大嗣
4年 Western Academy of Beijing 卒



13 DF
吉野 航司
4年 淳心学院高卒



14 MF
安孫子 悠紀
3年 山形東高卒



18 MF
加藤 爽
3年 竜ヶ崎第一高卒



CAP.
21 AT
斎藤 玄一
4年 横須賀高卒



22 MF
楠木 悠一郎
3年 札幌旭丘高卒



24 MF
林 庸介
4年 奈良高卒



31 MF
横田 慶二
2年 湘南高卒



33 DF
藤浦 健
2年 駒場高卒



39 DF
藤村 大樹
3年 清風高卒



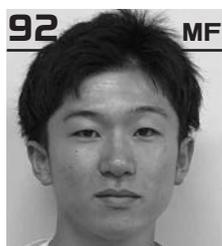
66 DF
石黒 充
4年 札幌第一高卒



72 AT
布施 拓也
3年 江戸川学園取手高卒



80 DF
山崎 和太郎
3年 浜松北高卒



92 MF
関根 一翔
2年 川越東高卒



MG
工藤 千聖
4年 宇都宮北高卒



MG
越田 りるか
4年 函館白百合高卒



MG
松田 結梨
4年 金沢西高卒

創部年度	1995 年
部員数	61 名
主将	豊永 大貴
ヘッドコーチ	吉本 龍一
全日本大学選手権出場回数	6年ぶり 2 回目



注目選手

この一年間、チームスローガン「WILL～俺がやる～」を元にやってきた。他地区に負け続けた3年間、一年の時は外から圧倒的な差を漠然と感じ、二年ではベンチからその差のかさを実感した、三年ではフィールドに立ち、手が届くと思ったが何もできなかった。四年目、最後の年、この手で掴み取る、俺がやる、全てはチームの勝利のため。



古賀 健吾
4年 東福岡高卒

WILL ～俺がやる～

私達九州大学男子ラクロス部は、今年度「全日本大学選手権ベスト4」を目標に「WILL」のスローガンを掲げて日々活動しております。

今年度から九州地区が支部化され、九州王者が全日本大学選手権の舞台に進むことができるようになりました。私達は現4年生が入部して以来、偉大な先輩方が3地区予選の高い壁を前に悔し涙を流す姿を常に見てきました。本大会出場は、先輩たちの借りを返す願ってもいないチャンスです。私達はこの1年間「全日本大学選手権ベスト4」の目標を達成するために、部員一人ひとりが「WILL」「俺がやる」という強い意志をもってラクロスに取り組んできました。この成果は必ずこの大舞台で発揮させます。そして九州大学男子ラクロス部の歴史だけでなく、九州地区ラクロスの歴史、全日本大学選手権の歴史に新たな1ページを刻みたいと思います。

コーチ



吉本 龍一

慶應義塾大卒
42歳・ラクロス歴27年
勤務先：自営業

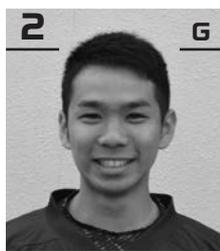
初めにこの素晴らしい舞台で戦えることを部員一同心より感謝します。私たち九州大学男子ラクロス部は、シーズン当初より真の全国トップチームを目指し活動して来ました。沢山の遠征、沢山の挑戦を重ね、今日この場に立っています。心技体、一年間の全てをこの大学選手権で出し切ります。



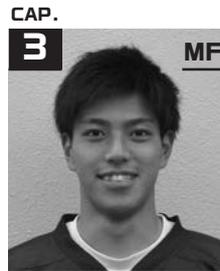
0 川野亮
4年 基町高卒



1 山田昌陽
3年 済美平成高卒



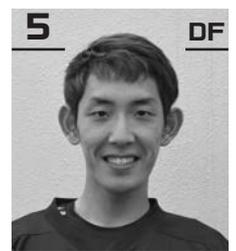
2 池永大樹
4年 長崎西高卒



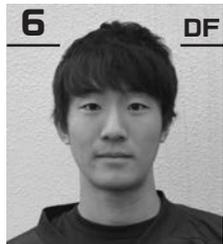
CAP. 3 豊永大貴
4年 倉敷青陵高卒



4 田丸寛
4年 広島学院高卒



5 大木光陽
3年 東福岡高卒



6 大豆生田有輝
4年 浜松北高卒



7 三浦徳朗
2年 小倉高卒



8 福庭彬大
4年 広島高卒



10 岡崎晃太
4年 千葉東高卒



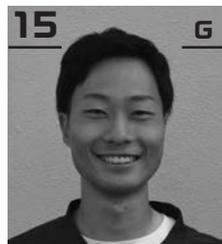
11 香月敦
4年 西南学院高卒



13 萩原望
3年 長野吉田高卒



14 吾郷大雅
4年 姫路飾西高卒



15 松尾良徳
4年 東福岡高卒



16 花井匠磨
4年 岡山朝日高卒



17 木下健一
2年 東筑業学園照曜館高卒



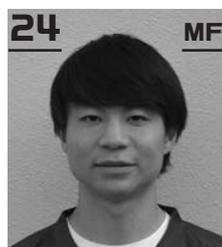
18 平野弘人
3年 日本大学高卒



20 中村武志
4年 福岡舞鶴高卒



21 杉山寛
4年 福岡大学附属大濠高卒



24 井上貴之
3年 岡山芳泉高卒



25 藤善世路郎
2年 奈良女子大学附属高卒



28 上園佳佑
4年 東福岡高卒



34 関啓太郎
2年 福岡大学附属大濠高卒



39 石田裕之
3年 東筑高卒



45 宇和田尚悟
4年 宮崎南高卒



88 内田壮平
3年 嵯峨野高卒



AC 川崎友也
九州大卒



AC 野見山友也
九州大卒



AC 百田茂実
九州大卒



AC 柏原健宏
九州大卒



TR 岩元佳菜
4年 甲南高卒



TR 山崎ゆき子
3年 長野日本大学高卒



MG 藤森咲衣
4年 親和女子高卒



MG 田坂優季
3年 長崎北陽台高卒

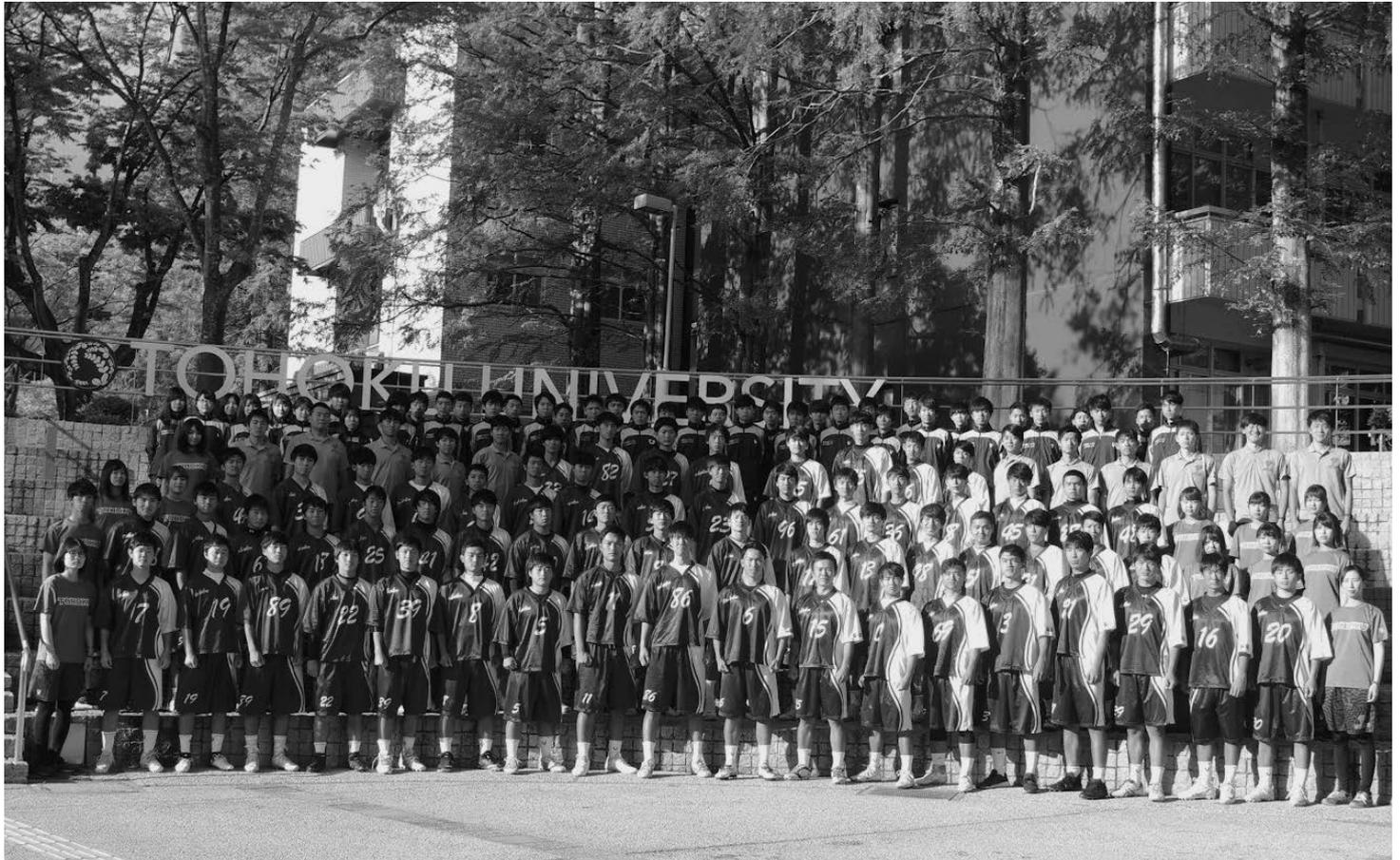


MG 田村優衣
3年 呉三津田高卒



MG 山本優芽
3年 広島なぎさ高卒

創部年度	1990年
部員数	116名
主将	浅野 勇磨
ヘッドコーチ	弓削多 春貴
全日本大学選手権出場回数	6年連続 6回目



注目選手

今年のチームのスローガンは「尽」です。全日本大学選手権を戦っていくに当たり、必ず苦しい場面はあると思いますがその都度このスローガンに立ち返り、自分の力を出し尽くしていきます。その中でも、結果に一喜一憂する事なく出来る事を徹底して行っていきます。



小山 大輔
2年 仙台第三高卒

「尽」「全学決勝」

今年度も皆様の応援に支えられ無事全日本大学選手権の舞台まで勝ち進むことができました。ありがとうございました。目標としている全日本大学選手権決勝の舞台まで、残り2試合となりました。私たち東北大学男子は3年連続で準決勝で敗れています。そういった先輩方の悔しさも背負いながら、全日本大学選手権という場でチーム一丸となり、一つひとつのプレーに全力を尽くします。地方大学初となる決勝の舞台に行き、東北大学の歴史に名を刻みたいと思いますので、応援よろしくお願いします。

コーチ



弓削多 春貴

東北大卒
25歳・ラクロス歴5年
東北大学大学院生

3年連続、大学選手権準決勝で苦汁を味わってきた。次のステージへ進むべく、日々努力を積み重ねてきた。今年こそ「全日本大学選手権決勝」の舞台に歴史的一歩目を踏み出す時。簡単な試合は一つもない。しかし、負けるわけにはいかない。全力を尽くし、チームに尽くし、ラクロスに尽くす。「尽」！！



0 AT

日野 康平
4年 市立浦和高卒



1 AT

竹岡 拓人
3年 市川高卒



2 MF

佐藤 飛夕宇
3年 大船渡高卒



3 DF

佐野 清
3年 駒場高卒



4 MF

加藤 英介
3年 鶴岡南高卒



5 G

田村 怜於
4年 東京学芸大附属高卒



CAP.
6 MF

浅野 勇磨
4年 東葛飾高卒



7 MF

長澤 仰
4年 大泉高卒



8 DF

梶山 樹
4年 水戸第一高卒



10 MF

小山 真
4年 船橋高卒



11 AT

高嶋 佑輔
4年 水戸第一高卒



13 MF

大作 太一
3年 海陽学園高卒



14 DF

荒木 佑之輔
2年 仙台第三高卒



15 MF

塚田 大智
4年 上田高卒



16 DF

吉川 智博
4年 富山中部長高卒



18 DF

柳川 拓海
3年 春日部高卒



19 MF

川井 博貴
4年 白石高卒



20 FO

村井田 貫太
4年 水戸第一高卒



21 DF

牛尾 宜弘
4年 青山高卒



22 AT

原 史弥
4年 長岡高卒



26 MF

原田 燦
4年 前橋高卒



29 DF

市村 卓視
4年 太田高卒



31 MF

中村 海晴
2年 仙台第三高卒



32 DF

後藤 景佑
2年 桐朋高卒



39 G

大野 剛史
4年 欽傍高卒



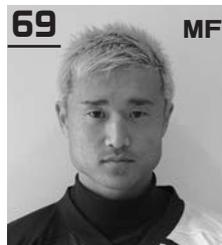
41 G

針生 輝希
3年 仙台第二高卒



67 MF

楠本 祥喜
3年 土浦第一高卒



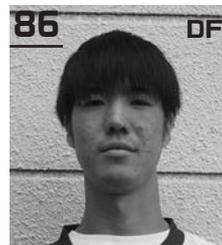
69 MF

長尾 壮一郎
4年 山手学院高卒



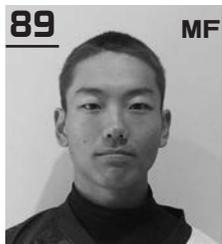
84 MF

川合 将矢
3年 昭和学院秀英高卒



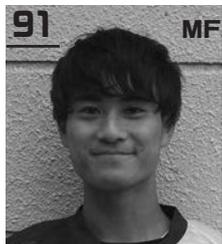
86 DF

大藪 陽太
4年 西高卒



89 MF

岡田 遼
4年 八戸高卒



91 MF

嶋林 佳生
4年 立川高卒



99 MF

茂田 治樹
2年 海城高卒



MG

松嶋 冴衣
4年 倉吉東高卒



MG

永山 晶子
4年 小松高卒



MG

牧野 友紀
4年 海星女子学院高卒

WOMEN'S RULE 女子ルール

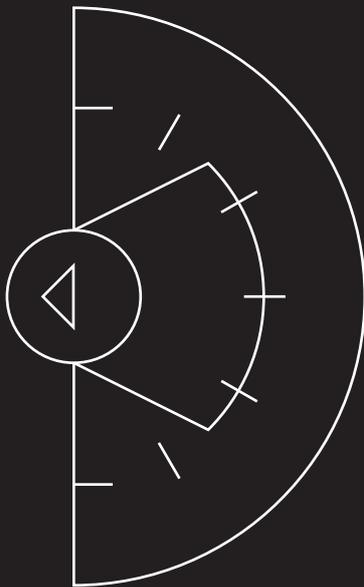
FIELD SIZE/POSITION



AT

MF

D



AT



MF

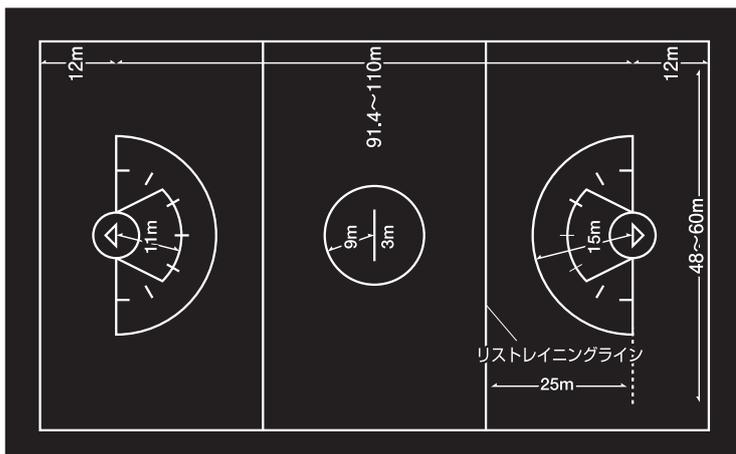
DF

AT



MF

D



飛べ、ゆけ、華麗に ここから世界へ

女子ラクロスはフィールドを10人のプレーヤーが自由にかけまわり、ボールをゴールまで運んで点を競い合います。ポジションは、フィールドのセンターラインを境に、攻(オフェンス)・守(ディフェンス)に、ほぼ分けることができます。試合時間は、15分×4クォーターで行われます。

セーブ



F



F

FOUL PENALTY

プッシング

相手選手を押すこと。



デンジャラスチェック

相手選手を叩いたり、危険にスティックを振り下ろすこと。



インザクリース

ゴール周りの半径3mの円内に、ゴールキーパー以外の選手が入ること。

また、攻撃側の選手が得点後に入ってしまった時もファウルとなる。



フリースペース トゥ ゴールの侵害 (シューティング・スペース)

ボールを持った選手が、相手ゴールの15mライン内に入って来た時、その選手とゴールサークルを結ぶエリア(フリースペーストゥゴール(FSG))に、ディフェンス側の選手が入ること。

ディフェンス側の選手に、ペナルティが与えられる。ディフェンス側の選手の危険を防ぐためのルール。



ペナルティー

反則が起こった際には、相手選手にボールが与えられ、反則した選手はそこから4m離されて、試合が再開される。ゴール付近で、ディフェンス側の選手が反則を犯した場合には、オフェンス側の選手に「フリーシュート」が与えられる。

■オフェンスの見所

多彩なスティックワークとチームプレイで、ディフェンスをかわし、相手ゴールを狙う。攻め方は、大きく、ファーストブレイク(速攻)とセットプレー(遅攻)に分かれる。グラウンドを広く使ったパス回し、個人の突破によって自陣から一気にシュートまで持ち込むファーストブレイクは、スピード感に溢れ、オフェンスの華である。セットプレーでは、ゴール裏を使ったサインプレーにも注目。

■ディフェンスの見所

ボールを持っている選手のスティックをチェックしたり、相手のパスをカットして、ボールを奪い、味方のオフェンスにつなげる。特に、複数の選手が声をかけあい、連携して、相手選手を追い込み、ボールを奪うシーンに注目。

■ゴールキーパーの見所

ゴールを守る最後の砦。高い俊敏性、冷静な判断力、強い精神力が求められる。時には、ゴールサークルを飛び出し、パスカットを狙うこともある。また、ボールをセーブしたあとの、素早いロングパスは、速攻の起点ともなる。

創部年度	1989年
部員数	217名
主将	山口茉莉
ヘッドコーチ	佐藤 壮
全日本大学選手権出場回数	8年ぶり2回目



注目選手

高校の時に達成できなかった日本一をもう一度目指したくて頑張ってきました。今年でもう4年目、少しでも長くみんなとラクロスがしたい。この気持ちを忘れず217人の想いを背負い、心強い仲間と共に最後まで全力を尽くして戦い抜きたいです。



稲木 柚香
4年 横浜市立東高卒

Do your best, and it must be first class.

ULTIMATESの理念は毎年変わらず「ずっと強い立教」「社会で活躍する女性を輩出する」という2つです。この理念を達成するため「Do your best, and it must be first class. ~最善を尽くせ、かつ一流であれ~」という行動指針のもと200人を超える部員一人ひとりが日々活動しています。一流であるためには何をすべきか、日本一にふさわしいチームとは何かを常に考えながら練習はもちろん、今年から新たにチームブランディングなど挑戦も多くしています。多くの皆様に支えて頂き、応援していただいていることへの感謝の気持ちを忘れずにプレーします。またフィールド上だけでなく応援でも全員が全力を尽くし、217名一丸となって戦っていきます。まだ見ぬ日本一の景色を今年こそみんなで見に行くために目の前の一戦一戦に全力を尽くします。どうぞ応援よろしくお願い致します。

コーチ



佐藤 壮

立教大卒
42歳・ラクロス歴23年
勤務先:

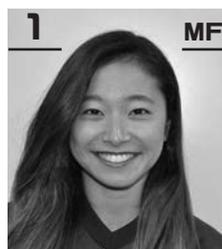
「ずっと強い立教」「社会で活躍する女性を輩出する」の理念の下、「Do your best, and it must be first-class.」の精神で活動しています。やるからには常に全力を尽くし、成果は人から認められ、真似されて初めて価値がある。立教が一流であると証明できるように部員一同頑張ります。



0 G

古谷 真子

4年 鷗友学園女子高卒



1 MF

大川 祐季

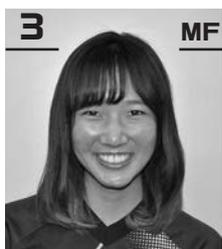
3年 日本大学高卒



2 MF

櫻井 美帆

3年 八千代高卒



3 MF

前西 莉奈

3年 横浜市立東高卒



4 AT

桑島 響子

4年 聖ドミニコ学園高卒



6 AT

折笠 みき

3年 横浜市立東高卒



7 MF

寺西 佑美香

3年 駒場高卒



8 DF

花岡 優子

3年 伊奈学園総合高卒



9 DF

新堀 江美里

3年 鶴見高卒



10 MF

樋口 紗穂

3年 横浜隼人高卒



CAP.
11 DF

山口 茉莉

4年 國學院久我山高卒



13 DF

武藤 梨乃

2年 川和高卒



14 DF

安田 悠乃

2年 川和高卒



15 AT

古森 理香子

2年 伊奈学園総合高卒



16 DF

仲本 真子

3年 柏高卒



17 MF

吉澤 亜美

4年 桐蔭学園高卒



18 MF

金谷 美佑

3年 国分寺高卒



19 DF

福田 幸奈

2年 東京成徳高卒



21 AT

三上 真奈美

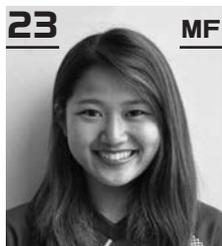
4年 東京成徳高卒



22 AT

梶 亜里紗

3年 立教女学院高卒



23 MF

鈴木 菜月

2年 桐蔭学園高卒



25 AT

石飛 菜々子

3年 駒場高卒



26 DF

渋谷 早紀

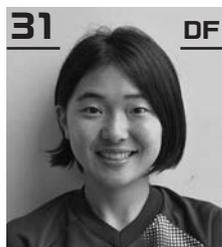
2年 国府台高卒



27 DF

米川 美樹

4年 日本大学第二高卒



31 DF

村上 舞

4年 仙台育英学園高卒



36 G

衛藤 三奈

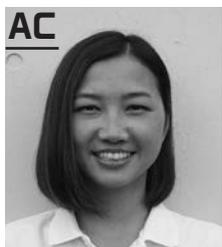
3年 柏陽高卒



90 AT

ジョーンズ 萌仁香

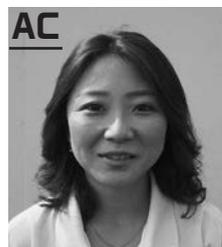
1年 東京成徳高卒



AC

森 未来

立教大卒



AC

白城 栄里子

立教大卒



AC

武内 美穂

立教大卒



TR

安藤 汐里

4年 東洋大学付属牛久高卒



TR

松本 侑子

3年 横須賀大津高卒



MG

西村 桜子

4年 田園調布雙葉高卒



MG

福永 萌水

4年 玉川聖学院高卒



MG

葉山 くるみ

3年 竹早高卒



MG

山本 みゆ

2年 明星高卒

創部年度	1990年
部員数	60名
主将	竹本 萌優
ヘッドコーチ	永島 正和
全日本大学選手権出場回数	2年ぶり4回目



注目選手

私の大学1年生からの目標。「同志社大学を日本一にする」、この目標に向かって常に努力してきました。しかし、ラストイヤーになりました。目標を叶えるのは今しかありません。必ずゴールを死守し攻めの起点として、勝利を導きます！最高の舞台上最高の仲間と共に日本一になります！応援宜しくお願いします。



竹本 萌優

4年 関西大学高等部

学生日本一 ～一戦必勝～

「学生日本一」それは同志社が未だかつて成し遂げたことのない栄冠。私たち同志社大学は、昨年度関西決勝の舞台上でシーズンを締め括りました。決勝で敗れた関西学院大学が学生日本一になる姿をただ見てる事しか出来なかった。鮮明に思い出す悔しさと共に来年こそは必ずあの舞台上で栄冠を手にする事を誓い、今シーズンをスタートさせました。今まで超えられなかった壁を超えるため、初めての事への挑戦を恐れず、行ってきた改革。新しい一歩を踏み出すのは決して楽しく嬉しい事ばかりではなかった。全ては、「学生日本一」という栄冠を掴む為。コーチ陣と共に、自分たちのラクロスとは何かを考え、苦しみ、学んで、もがいて、一歩ずつ進んできた1年間。観客を巻き込み、魅了する同志社ラクロスを体現します。ご声援の程、宜しくお願い致します！

コーチ



永島 正和

佛教大卒
41歳・ラクロス歴22年
勤務先：学校法人富永学園

『弱が強に勝つために』

同志社が常に追い求めたもの。自分たちの力を100%出すためのラクロスとは。たくさん考え、たくさん学んだ一年が生み出す答え。

チームそして一人ひとりに私は惹かれ、ともにラクロスができることに感謝し、同志社の一員であることを心から誇りに思い戦います。



1 中村 有里
3年 同志社高卒



3 長瀬 涼音
4年 同志社高卒



5 谷山 碧
2年 城南高卒



7 足立 梨花
4年 茨木高卒



10 松下 理佳子
3年 同志社高卒



11 井田 ほのか
2年 同志社高卒



12 鎌田 夏芽
3年 松山西中等教育学校卒



14 福地 梨紗
3年 同志社高卒



15 黒木 うらら
2年 長崎北陽台高卒



16 伊吹 諒子
2年 同志社高卒



19 渡辺 夏乃華
4年 志学館高卒



21 石井 柚奈
2年 東高卒



22 山口 友唯
2年 同志社高卒



24 山本 涼
2年 同志社高卒



25 村田 奈穂
2年 同志社高卒



27 津金澤 明里
4年 高崎女子高卒



32 中村 友香
3年 同志社香里高卒



36 大須賀 梨央
3年 同志社国際高卒



44 森 風佳
3年 同志社高卒



45 田中 ちさと
4年 同志社高卒



51 田中 あかり
1年 同志社高卒



52 谷口 美月
2年 同志社女子高卒



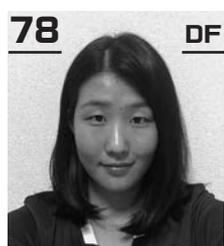
54 宮原 萌花
3年 同志社国際高卒



59 橋本 琴音
1年 同志社高卒



77 林 莉理佳
3年 同志社高卒



78 井上 瑞歩
4年 帝塚山高等卒



藤村 奉与
同志社大卒



木村 有希
同志社大卒



野尾 明日香
同志社大卒



玉置 美玲
学習院大卒



藤田 明日香
4年 梅村学園三重高卒



黒岩 優花
4年 四條畷高卒



山口 優理佳
3年 朝倉高卒



小島 帆風
4年 同志社高卒



浦井 悠伊
4年 郡山高卒



黒田 友紀乃
3年 同志社高卒

創部年度	1991年
部員数	68名
主将	柴田真由
ヘッドコーチ	小久保智代
全日本大学選手権出場回数	2年ぶり6回目



注目選手

チームみんなで目指してきた学生日本一という最高の景色を見るために、笑顔で最後まで走り抜きたいです！そして、このチームに関わる全ての方に結果で恩返ししたいです！どんな時もラクロスを楽しむ心を忘れずに全力でプレーします！応援よろしくお祈りします！

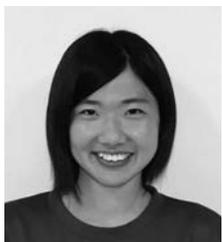


山内 理紗子
2年 天白高卒

懸ける

「学生日本一」それは、一度も負けは許されないということ。そのために今まで1日1日の練習やひとつひとつのグラウンドボール、チェイス、全てに想いを懸けて来ました。誰よりも自分達の力を信じ、前を見続け進んできました。ラスチカスとしても、そして東海地区としても未だ成し遂げたことがない「学生日本一」という目標。この目標を達成するため、今年、多くの方々力を借りながら、たくさんの新しい挑戦をしました。夏に始まったリーグ戦、一戦一戦にこだわり続け、今、この全学の舞台に立てることを幸せに思います。創部以来、ラスチカスに関わってくださった全ての方に、「学生日本一」という目標達成で恩返しができるように最後まで全員で駆け抜けます。応援よろしくお祈りします。

コーチ



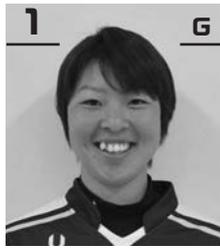
小久保 智代

立教大卒
25歳・ラクロス歴7年
勤務先：会社員

南山大学女子ラクロス部、通称『LAS CHICAS』（ラスチカス）はスペイン語で元気な女の子という意味です。チーム名通り元気が溢れるこのチームと出会って3年。誰よりもこのチームが好き、ラクロスが好き、そんな気持ちが溢れる皆と必ず日本一に。今年のスローガンである一人一人の『懸ける』が溢れるプレーや応援にご期待ください。



0 AT
相原 史奈
4年 名古屋南高卒



1 G
鬼頭 佳望葉
3年 昭和高卒



3 DF
近藤 美緒
4年 一宮南高卒



5 DF
吉兼 晶子
3年 瑞陵高卒



6 AT
神田 真央
3年 愛知淑徳高卒



7 MF
眞野 桃子
4年 千種高卒



9 MF
安田 真美
4年 昭和高卒



11 MF
友原 歩香
4年 岡崎西高卒



14 MF
芦田 七美
4年 刈谷北高卒



17 DF
那須 美月
4年 松蔭高卒



16 AT
遠山 佳奈
2年 東海商業高卒



CAP.
29 G
柴田 真由
4年 千種高卒



34 MF
今井 千聖
4年 知立東高卒



35 AT
中川 春乃
4年 天白高卒



36 DF
加古 有希乃
4年 横須賀高卒



38 MF
前田 真穂
4年 愛知高卒



41 DF
長屋 早紀
4年 岐阜商業高卒



45 AT
長谷川 菜摘実
3年 昭和高卒



47 DF
浅野 瑠菜
2年 可児高卒



71 DF
桑山 萌絵
4年 聖ピクニオ女子高卒



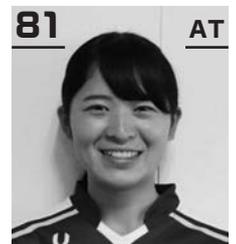
72 MF
利光 葉月
4年 菊里高卒



74 MF
寺田 直緒
3年 瑞陵高卒



75 MF
榊原 伶奈
3年 刈谷高卒



81 AT
小野 真奈美
4年 昭和高卒



86 DF
中嶋 はるな
1年 若宮商業高卒



89 DF
清水 あかり
4年 関高卒



99 MF
濱田 亜弥紗
3年 昭和高卒



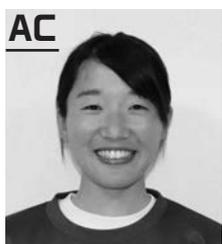
GM
出澤 純
成蹊大卒



GM
金田 絵実
南山大卒



AC
小島 拓也
東京大卒



AC
加藤 亜季
愛知学院大卒



GC
徳外 宗哉
関西学院大卒



ST
佐藤 吉紀
愛知大卒



ST
山本 智美
至学館大卒



MG
村田 彩朱佳
4年 津西高卒



MG
飯田 真子
4年 刈谷北高卒

創部年度	1994年
部員数	57名
主将	澤田 郁乃
ヘッドコーチ	土田 周人
全日本大学選手権出場回数	3年連続5回目



注目選手

やっと、この場に戻ってきました。ここで勝つことをずっと目指してきたけれど、叶えられなかった目標。それを今年こそ果たします。先輩から受け継いだこの背番号を、必ず準決勝へ連れて行きます。ここまで協力して下さった沢山の人の思いを背負って、精一杯、最後まで走り切るの、応援よろしくお願いします！



永田 瞳
4年 旭丘高卒

All OUT

北海道地区3連覇を果たし、長年目標としている「全日本大学選手権勝利」へ挑みます。今年一年、全日本大学選手権勝利に向けて“全員が全力を”の意味を込められたスローガン「All OUT」を各部員意識し、チーム力を高めてきました。

今年掲げた理念「魅力溢れる人・チームたれ」

日々、北海道地区内外からいろいろな形でたくさんの方々に支えられています。

今年一年、北海道大学がいつまでも応援してもらえる人・チームになるよう、技術面だけではなく、組織面でもたくさんの方に挑戦してきました。そして、私たちを応援して下さる方々の気持ちも背負って、戦い抜く準備をしてきました。

去年、一昨年の一戦敗退の悔しさを知る部員が今年こそ勝利を掴み、北海道の歴史を作り替えます！

コーチ



土田 周人

北海道大卒
31歳・ラクロス歴13年
勤務先：札幌市役所

北海道大学はここ何年か「全日本大学選手権勝利」という目標に向かって、チームづくりや練習、ミーティングなどを重ねてきました。そして今年のチームスローガンは“ALL OUT”。すべてのことに全力で打ち込んできました。その全力が本当だったかは結果で示します。全力で挑み、歴史を変える勝利を掴み取ります。



0 G
水野 ゆかり
4年 一宮高卒



10 G
宮下 彩季
4年 船橋高卒



15 AT
森 美友
4年 Epsom Girls Grammar School 卒



CAP.
17 DF
澤田 郁乃
4年 時習館高卒



18 MF
古川 菜生
4年 筑紫丘高卒



26 AT
西田 琴乃
4年 北野高卒



33 MF
鈴木 かりん
4年 土浦第一高卒



35 AT
梅田 鈴音
4年 札幌西高卒



41 DF
新里 美瑠
4年 球陽高卒



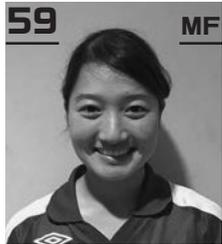
43 DF
阪本 詩乃
4年 向陽高卒



55 DF
戸澤 愛美
4年 御所野学院高卒



58 MF
本多 麻耶
4年 旭川東高卒



59 MF
中島 佐和子
4年 茗溪学園高卒



72 MF
佐々木 美月
4年 小樽潮陵高卒



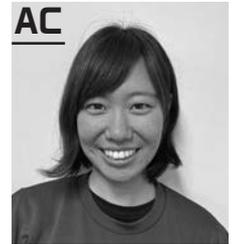
74 MF
渡辺 まりの
4年 都立新宿高卒



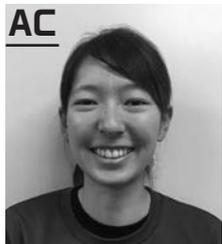
77 DF
小谷 明里
4年 富士見高卒



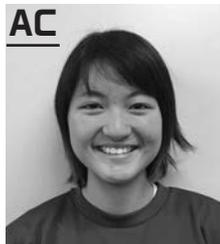
98 DF
宮本 真帆
4年 金沢二水高卒



AC
大木 詩生
北海道大卒



AC
合田 菜な未
北海道大卒



AC
西尾 史子
北海道大卒



AC
井上 佳子
北海道大卒



AC
渡邊 翠
北海道大卒



MG
畠中 紗月
4年 小松高卒



MG
山本 瀬菜
3年 俱知安高卒



MG
三浦 桃佳
3年 札幌西高卒



MG
堀川 真実子
2年 須磨学園高卒

創部年度	1991年
部員数	50名
主将	三島 遥
ヘッドコーチ	尾花 智子
全日本大学選手権出場回数	3年連続5回目



注目選手

こんにちは！福岡大学のらんです！私たち福岡大学はこの一年間「打倒関西」を目標にチーム一丸となって練習してきました。今までやってきた成果を出し切ってフィールドもベンチも応援席も全員で全力で勝ちを掴みにいきます！！そしてどのチームよりも会場を沸かせます！福岡大学の応援よろしくお祈いします！！



萬野 美和
4年 筑紫中央高卒

圧倒

今シーズンの私たちの目標は『打倒関西』です。
私たちは、学年関係なく仲が良く、やる時はとことん真剣に取り組めるチームです。また、部員一人ひとりが常に自分の役割を考え実践し、目標に向かって努力してきました。
チームスローガンである『圧倒』には、プレーはもちろん、挨拶や礼儀などでも相手を圧倒し、応援されるチームであり続ける、そして先輩や去年までの自分を圧倒し、打倒関西を達成したいという想いが込められています。

これを常に全員が意識して練習し、チーム全体で高め合ってきました。

福大ラクロス部に関わって下さった全ての人への感謝の気持ちを忘れず、チームスローガンである『圧倒』を全日本大学選手権という最高の舞台で体現し、どのチームよりもラクロスを楽しみ、必ず目標を達成します。

ご声援のほどよろしくお祈いします。

コーチ



尾花 智子

福岡大卒
31歳・ラクロス歴13年
勤務先：公務員

今年は大学選手権の準決勝が佐賀県で行われるので、九州地区の多くの方に試合を観ていただける絶好の機会です。これまでチームに関わってくださった全ての方々への感謝の気持ちを胸に、九州地区の代表として必ずその舞台に立ち、目標達成までチーム一丸となって全力で突き進みます。



2 G

岩屋 紗奈
3年 都城泉ヶ丘高卒



3 MF

三戸 佳織子
2年 広島なぎさ高卒



4 MF

矢野 汐理
4年 筑紫高卒



6 MF

松本 あずみ
2年 慶進高卒



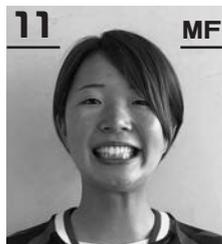
7 MF

内野 愛美
3年 若葉高卒



9 AT

月形 友理香
4年 福岡西陵高卒



11 MF

樺島 未雨
3年 新宮高卒



13 AT

重松 優里
3年 香椎高卒



14 MF

吉元 友佳子
4年 香住丘高卒



17 G

林 咲良
2年 廿日市高卒



19 AT

高辺 香衣
3年 都城泉ヶ丘高卒



20 MF

姫野 新奈
2年 唐津東高卒



24 MF

中島 彩絵
2年 伊万里高卒



29 DF

笈原 あや
4年 筑前高卒



30 AT

坂本 未歩
3年 自由ヶ丘高卒



31 MF

鶴田 真那
2年 久留米商業高卒



CAP.
33 MF

三島 遥
4年 九州産業高卒



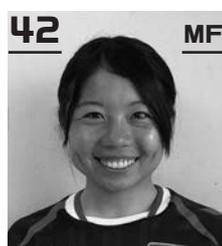
38 AT

富永 紗彩
3年 糸島高卒



39 AT

永田 美羽
3年 若葉高卒



42 MF

佐藤 妙月
4年 伝習館高卒



53 MF

島田 彩智
3年 松山中央高卒



55 MF

南里 祐萌加
3年 北筑高卒



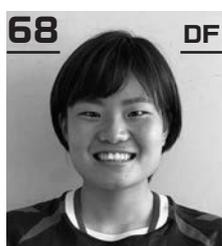
59 MF

山本 あすか
2年 鹿屋高卒



63 MF

柘藪 萌
3年 広島国泰寺高卒



68 DF

池松 ひかり
3年 若葉高卒



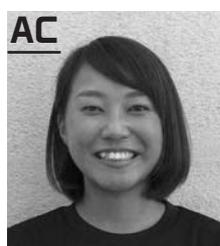
75 MF

町田 菜々子
3年 大分舞鶴高卒



81 MF

半田 久乃
4年 若葉高卒



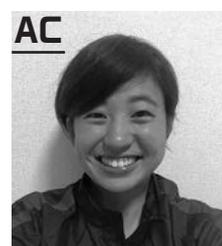
AC

山田 実奈
福岡大卒



AC

下川 稚葉
福岡大卒



AC

稲田 明日香
福岡大卒



TR

中村 治人
福岡大卒



MG

鈴木 もも
3年 筑前高卒



MG

武智 七奈
3年 香椎高卒



MG

土田 侑果
3年 日本航空高卒



ST

森田 麻鈴
4年 東筑紫学園高卒



ST

吉田 千尋
4年 春日高卒

宮城学院女子大学

JLA 公式サイト

全部員のリストを
JLA公式サイトで
紹介しています

創部年度 1996年

部員数 35名

主将 加藤 杏奈

ヘッドコーチ 津村 野乃花

全日本大学選手権出場回数 初出場



注目選手

四年生と試合できる最後の試合、先輩たちのために、そして今まで支えあって励ましあって一緒に乗り越えてきた同期、後輩たち、これまでもに練習してきた仲間たちと自分の出来るすべてを出し切って精一杯頑張ります！

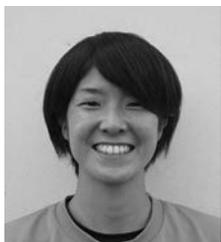


後藤 日菜子
3年 太田第一高卒

貪欲
～咲機はこの手に～

こんにちは！私達は、今年目標である全日本大学選手権一勝を達成し、さらなる最終目標である全日本選手権出場をめざし日々練習に励んできました。「ハイスピードラクロス」をスローガンに掲げ、関東にも通用するブレースピードを磨いてきました。それにそぐわない時はチームで考え、話し合い、自分たちのしたいラクロスを追い求め、練習しています。そのため部員だけでなく、コーチやOG、練習に来て下さる方々と共に一致団結して自分たちのラクロスを作り上げてきました。また、技術目標以外の全体のチーム目標を「貪欲～咲機はこの手に～」に掲げプレーだけでなく、今年はアットホームな雰囲気を作り、学年関係なく勝ちに貪欲になることで、一つのチームを作ってきました。私は、この大好きなチームで勝つと決めました。ずっと夢見てきたこの大舞台で練習してきた成果を出し切って全力で戦います！ベンチだけでなく、スタンドも含め全員で全日本選手権優勝を叶えます！

コーチ



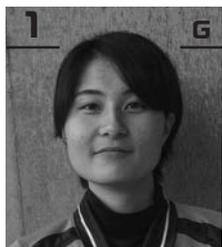
津村 野乃花

宮城学院女子大卒
27歳・ラクロス歴9年
勤務先：幼稚園

現役の時から目標としていた大学選手権！コーチとして、ようやくたどり着いたこの舞台！二地区で戦ったチームの思いやOGの方々、応援して下さい下さる方々の思いも背負って、全力で戦います。



0 DF
東山 令奈
3年 富谷高卒



1 G
神 清香
3年 弘前学院聖愛高卒



6 AT
林 明莉
1年 八戸北高卒



7 DF
太齋 礼子
4年 仙台育英高卒



8 MF
高丸 奈々
3年 富谷高卒



9 AT
渡辺 佳子
1年 水沢高卒



11 AT
小野 佑華
3年 宮城第一高卒



12 MF
伊勢 みなみ
4年 仙台高卒



15 AT
高橋 優香
2年 仙台南高卒



18 AT
渡部 木野香
1年 仙台育英高卒



21 AT
霜山 千枝里
2年 福島南高卒



25 G
大江 明未
1年 石巻高卒



26 G
鴫田 真弥
3年 東北生活文化大学高卒



33 AT
長尾 佳奈
1年 ザペリオ学園高卒



CAP.
41 MF
加藤 杏奈
4年 山形西高卒



43 MF
山蔭 萌
1年 盛岡第四高卒



47 MF
村上 遥香
3年 宮城学院高卒



49 DF
佐々木 紗奈
2年 古川高卒



50 AT
鈴木 千夏
3年 塩釜高卒



64 DF
高橋 愛実
1年 塩釜高卒



65 AT
小笠原 彩乃
3年 宮古高卒



72 MF
佐藤 菜々華
1年 仙台北桜高卒



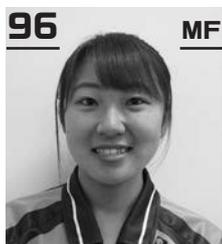
76 AT
小山 珠実
1年 仙台北桜高卒



81 DF
佃 美空
1年 明成高卒



91 MF
細川 史帆
1年 仙台高卒



96 MF
安田 采加
1年 福島東高卒



MG
佐藤 史織
3年 仙台北百合学園高卒



TR
関 彩乃
2年 富谷高卒



MG
佐藤 伶未
1年 一関第二高卒



MG
古山 舞衣
1年 仙台東高卒



MG
佐藤 真暖
1年 岩ヶ崎高卒



MG
高橋 桃花
1年 岩ヶ崎高卒

◆男子競技審判員

1 回戦・名古屋会場



藤田 薫伸
1 級
23 年



中筋 源太
1 級
15 年



植地 陽一
1 級
26 年



貴島 亮
2 級
3 年

1 回戦・仙台会場



渡邊 慧
1 級
8 年



森部 一斗
1 級
5 年



中野 弘己
1 級
12 年



須東 駿太
2 級
6 年

準決勝・佐賀会場



中筋 源太
1 級
15 年



駿河 克己
2 級
7 年



内藤 達也
2 級
7 年



大西 孝則
2 級
7 年

準決勝・大阪会場



志水 研太郎
1 級
26 年



宮原 修人
1 級
6 年



池下 直哉
1 級
8 年



小池 智
1 級
13 年

決勝・東京会場



篠原 将浩
1 級
16 年



徳田 駿大
1 級
6 年



原 拓輝
1 級
4 年



森部 一斗
1 級
5 年

◆女子競技審判員

1 回戦・名古屋会場



宮崎 彩
1 級
19 年



植田 千晶
1 級
7 年



阪本 一美
1 級
26 年



山田 章子
1 級
26 年

1 回戦・仙台会場



植木 夢
1 級
12 年



三藤 秀久
1 級
6 年



開 亜沙
1 級
20 年



鹿野 更紗
2 級
5 年

準決勝・佐賀会場



水野 史恵
1 級
18 年



大久保 祐子
1 級
14 年



草刈 香奈子
1 級
26 年



山田 徳子
1 級
16 年

準決勝・大阪会場



小田 祐子
1 級
19 年



宮崎 彩
1 級
19 年



木村 真美
1 級
8 年



堀 希美佳
1 級
6 年

決勝・東京会場



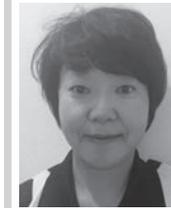
平野 倫子
1 級
26 年



草刈 香奈子
1 級
26 年



溝内 貴恵
1 級
18 年



中本 真由美
1 級
26 年

第11回 ラクロス全日本大学選手権大会

◆大会実施本部（東京会場）

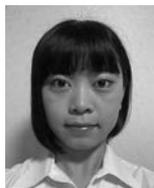
大会実施本部

本部長	菅野 史佳 (上智大学)	白塚 光莉 (立教大学)	鈴木 穂花 (駒澤大学)
副本部長	堀口 晃汰 (立教大学)	齋藤 達彦 (千葉大学)	大石 詩央里 (東京学芸大学)
試合班長 (男子)	香取 真希 (法政大学)	山中 里佳子 (聖心女子大学)	中條 悠里 (立教大学)
試合班 (オフィシャル)	大保 匡之 (立教大学)	小池 紀史 (明治学院大学)	田中 葵 (東京家政大学)
	佐藤 大輔 (中央大学)	松本 まひろ (成蹊大学)	後藤 駿太 (立教大学)
	小野 泰輔 (早稲田大学)	中島 彩伽 (関東学院大学)	伊藤 美優 (東洋大学)
	伊藤 智史 (東京学芸大学)	篠崎 晴菜 (神奈川大学)	水口 佳南 (獨協大学)
	山崎 貫太 (明治大学)	稲益 大悟 (東京農業大学)	上野 滯音 (東海大学)
	津金澤 拓 (立教大学)	友田 一輝 (中央大学)	高橋 陽香 (東京外国語大学)
試合班長 (女子)	三代 真梨子 (明治大学)	笠松 里彩 (関東学院大学)	尾澤 美里 (神奈川大学)
試合班 (オフィシャル)	阿部 美智子 (共立女子大学)	安達 璃奈 (日本女子大学)	稲垣 佑奈 (成蹊大学)
	清水 祐里 (フェリス学院大学)	足立 夏菜 (明治大学)	茂呂 賢佑 (学習院大学)
	鈴木 奈々 (明治大学)	岡本 爽太郎 (神奈川大学)	原 希実 (千葉大学)
	横森 彩佳 (成蹊大学)	原見 直子 (学習院大学)	石田 万奈 (立教大学)
チーム対応	石黒 弘樹 (帝京大学)	竹原 彬 (日本大学)	寺垣 大毅 (早稲田大学)
	三浦 清誉 (千葉大学)	枝廣 祐泰 (立教大学)	木下 剛志 (日本大学)
	川口 舞衣 (立教女学院短期大学)	田中 佑典 (帝京大学)	原田 太郎 (日本体育大学)
	嶋田 凛 (聖心女子大学)	吉越 詠美 (東京家政大学)	尾崎 侃凱光 (日本体育大学)
アナウンス	大山 泰河 (日本大学)	間田 一成 (青山大学)	大塚 楓也 (帝京大学)
	岡田 唯花 (成蹊大学)	天野 初香 (聖心女子大学)	齊藤 舞子 (学習院大学)
	千葉 萌加 (明治学院大学)	瀬田 秀敏 (東洋大学)	
	須山 真人 (日本大学)	合間 亮平 (東京農業大学)	
	足立 夏菜 (明治大学)	橘 嗣恩 (明星大学)	
表彰	佐藤 弘菜 (東京農業大学)	大内 南人 (明星大学)	
受付・券売班	大久保 翔 (明治大学)	徳永 優真 (東京学芸大学)	
	西村 桜子 (立教大学)	尾上 美凜 (東京理科大学)	
	宮村 大樹 (日本体育大学)	須藤 大輝 (明治大学)	
	渡辺 万尋 (東洋英和女学院大学)	田中 一平 (学習院大学)	
	永井 玲奈 (東京女子大学)	中込 章 (明治学院大学)	

大会アンバサダー



瀬戸 武
明治学院大学



田中 笑菜
聖徳大学



新井 香春
東京大学



加納 真名
聖心女子大学



道川 慧大
慶應義塾大学



宮田 慶
慶應義塾大学



石田 みのり
白百合女子大学



尾形 みさと
明治大学



近内 優奈
明治大学



廣瀬 みなみ
明治大学



堀江 南実
白百合女子大学



山本 彩夏
白百合女子大学



石井 美璃
白百合女子大学



岩淵 菜々子
聖心女子大学



君嶋 千笑
東京農業大学



小松 美羽
西武文理大学



葉室 乃亜
聖心女子大学



市原 理咲子
白百合女子大学



川又 暁
東洋大学



山崎 碧
東洋大学

大会アンバサダー委員

長瀬 隼斗 (明治大学)、江里口 翔真 (中央大学)、西崎 回 (立教大学)、野口 史朗 (筑波大学)、山添 丈司 (上智大学)、薄井 なつみ (東洋大学)、伊藤 梢太 (明星大学)、高塚 大生 (埼玉大学)、秋山 遼詞 (玉川大学)、湯本 公翔 (城東大学)、萩原 拓海 (早稲田大学)、金成 明親 (日本体育大学)、山下 諒馬 (千葉大学)、大竹 貫太 (成蹊大学)、三谷 隆富 (成蹊大学)、大山 高弥 (東京農業大学)、貫名 亮 (青山学院大学)、高橋 篤輝 (東海大学)、矢澤 大夢 (日本大学)、建部 翼 (東京学芸大学)、浪川 稜 (茨城大学)、森松 大地 (関東学院大学)、佐々木 大成 (専修大学)、長谷川 育生 (淑徳大学)、高森 有汰 (駒澤大学)、吉田 易裕 (東京経済大学)、広沢 泰雅 (法政大学)、米倉 春希 (東京大学)、久保谷 竜太 (武蔵大学)、土井 裕太 (一橋大学)、萩原 恒太 (明治学院大学)、向田 太一 (神奈川大学)、村田 亮介 (横浜国立大学)、山崎 功太郎 (東京理科大学)、加藤 誠也 (東京理科大学)、住谷俊紀 (学習院大学)、坂下 慧 (慶應義塾高校)、柳沢 碧人 (慶應義塾高校)、中嵩 拓夢 (国士館大学)、佐藤 悠人 (大東文化大学)、黒田 尚希 (成城大学)、市毛 零也 (獨協大学)、多田 環大 (帝京大学) / 横田 亜弓 (慶應義塾大学)、飯村 友那 (成蹊大学)、加藤 璃紗 (青山学院大学)、秋吉 百花 (早稲田大学)、北田 夏子 (東海大学)、栗田 美憂 (中央大学)、海老原 ほなみ (東京農業大学)、重松 美咲 (日本体育大学)、吉田 彩夏 (法政大学)、糸山 実矩 (明治大学)、山口 珠理杏 (学習院大学)、吉本 日菜子 (立教大学)、加藤 瑠華 (明治学院大学)、鈴木 美祈 (駒澤大学)、西谷 優花 (横浜国立大学)、小泉 恵里奈 (国士館大学)、冨田 蘭子 (千葉大学)、森田 珠奈 (大東文化大学)、倉上 菜々子 (東京学芸大学)、太田 菜摘 (東京女子体育大学)、井上 みなみ (東洋大学)、山本 来瞳 (日本女子体育大学)、山口 愛生 (一橋大学)、佐藤 愛 (日本女子大学)、根岸 彩夏 (茨城大学)、浅古 彩加 (共立女子大学)、長壁 小帆 (玉川大学)、星野 彩香 (日本大学)、林 綾乃 (桜美林大学)、糸谷 里依子 (上智大学)、露木 快即 (成城大学)、後藤 千晴 (駒沢女子大学)、加藤 蘭 (専修大学)、菊地原 祥子 (大妻女子大学)、寺澤 珠希 (筑波大学)、皆川 千尋 (帝京大学)、布施 愛実 (東京家政大学)、飯田 美希 (東京女子大学)、秋庭 千尋 (東京理科大学)、津田 芙実 (東洋英和女学院大学)、鈴浦 恵 (東京大学)、加藤 桃香 (武蔵大学)、関 智子 (文教大学)、高橋 南 (獨協大学)、落合 瞳 (フェリス学院大学)、相馬 爽帆 (関東学院大学)、小原 奈々実 (聖心女子大学)、大江 佳菜 (高崎経済大学)、中村 透子 (国際基督教大学)、服部 結依 (埼玉大学)、安澤 詩乃 (実践女子大学)、鮎川 和 (神奈川大学)、小松 美羽 (西武文理大学)、田川 末希 (創価大学)、小山 綾乃 (東京家政学院大学)、早川 惠理香 (東京外国語大学)、松土 愛菜 (白百合女子大学)、本間 たみ (淑徳大学)、鈴木 華枝 (明星大学)、岸岡 凜華 (東京経済大学)

◆大会実施本部（大阪会場）

大会実施本部 運営局役員

<p>〈実施本部〉</p> <p>本部長兼副本部長 芝池 亮太（大阪市立大学）</p> <p>補佐 長谷川 善洋（近畿大学） 石田 朱音（京都女子大学）</p> <p>〈大会本部〉</p> <p>部長 杉山 浩一朗（近畿大学）</p> <p>副本部長 浅野 七海（近畿大学）</p> <p>補佐 花野 貴祐（大阪経済大学） 二木 瑞穂（佛敎大学）</p> <p>グラウンドメイク班 岡 邦彦（立命館大学） 亀井 笑子（大阪国際大学）</p> <p>チーム対応班 吉田 理貴（龍谷大学） 大下 侑夏（大阪市立大学）</p> <p>オフィシャル班 城谷 敏史（神戸大学） 鈴木 杏（神戸女学院大学）</p> <p>〈会場運営部〉</p> <p>部長 田中 佑弥（関西大学）</p> <p>副本部長 森川 由衣（桃山学院大学）</p> <p>補佐 西 拓歩（近畿大学） 河原 茉優（神戸女学院大学）</p> <p>ゾーニング班 齋藤 拓文（甲南大学） 島本 真里（関西外国語大学）</p>	<p>誘導班 大高 直樹（立命館大学） 三部 穂乃佳（龍谷大学）</p> <p>清掃班 西山 直輝（京都大学） 嵩田 実咲（追手門学院大学） 西濱 虎之介（神戸学院大学） 中川 舞乃（関西大学）</p> <p>券売班</p> <p>〈広報運営部〉</p> <p>部長 海老澤健（神戸学院大学）</p> <p>副本部長 糸 幸葉（神戸女学院大学）</p> <p>補佐 吉良 大輝（大阪教育大学） 岩井 優花（関西学院大学）</p> <p>イベント班 中島 一貴（甲南大学） 中村 太郎（京都大学） 尾崎 春香（神戸親和女子大学） 廣瀬 珠梨（園田学園女子大学） 北村 櫻子（奈良女子大学） 中川 由唯（梅花女子大学）</p> <p>マスコミ班 山崎 京香（京都産業大学） 古藤 杏樹（甲南女子大学） 三阪 亜美（関西大学） 山下 佑奈（大阪経済大学） 生谷 祐伎（大阪大学）</p> <p>SPJ班</p>	<p>梅村 萌（関西外国語大学）</p> <p>寺田 真秀（近畿大学）</p> <p>澤田 奈々（立命館大学）</p> <p>濱口 佳大（神戸大学）</p> <p>大倉 七水（佛敎大学）</p> <p>ゲームレポート班 久志本 康一（関西大学） 小野 恭輔（同志社大学） 下宮 律輝（立命館大学） 山本 恭也（佛敎大学） 森口 雛晴（龍谷大学） 元雄 麻希子（同志社大学）</p> <p>プランニング班 北野 裕也（大阪市立大学） 伊藤 美優（大阪教育大学） 古川 愛菜（大阪国際大学） 杉原 将太（龍谷大学） 河内 久子（京都女子大学） 嵯峨 翔子（甲南大学） 永易 大弥（関西学院大学）</p>
---	--	---

大会実施本部 CPJ 役員

木村 晃翔（流通科学大学）、岸渕 佑哉（京都産業大学）、森本 竜史（桃山学院大学）、長谷川 裕士（大阪教育大学）、中川 貴元（大阪産業大学）、水谷 憲司（佛敎大学）、澤田 大成（甲南大学）、池本 晃大（神戸学院大学）、田中 駿（関西学院大学）、浅香 亮太郎（龍谷大学）、原 慶貴（立命館大学）、飯田 拓夢（追手門学院大学）、中原 安里彩（京都工芸繊維大学）、三好 雄太（大阪経済大学）、齋藤 大悟（大阪大学）、小林 敦浩（同志社大学）、小倉 拓（京都大学）、藤原 奈那子（関西学院大学）、松下 理佳子（同志社大学）、萩原 真耶（大阪大学）、永阪 朝（神戸大学）、竹下 紗帆（近畿大学）、森本 実佑（大阪教育大学）、室 早織（甲南女子大学）、榊 涼香（大阪経済大学）、田村 舞帆（大阪国際大学）、山田 穂香（園田女子大学）、長谷川 陽菜（京都大学）、浅澤 京子（大阪大谷大学）、南 杏奈（龍谷大学）、塩見 璃子（立命館大学）、小川 野乃（武庫川女子大学）、盆子原 彩可（大阪市立大学）、増田 千聖（大阪体育大学）、丸毛 瑠璃香（京都工芸繊維大学）、福本 詩乃（同志社女子大学）、齊内 葵（佛敎大学）、内橋 沙耶（京都橋大学）、堤 友梨子（京都産業大学）、村上 まどか（甲南大学）、永見 日奈子（神戸学院大学）、玉越 富美（神戸女子大学）、福井 友佳（関西外国語大学）、山下 真奈（桃山学院大学）、岸田 七海（大手前大学）、福元 春奈（奈良女子大学）、前田 彩乃（追手門学院大学）、下井田 もなみ（神戸松蔭女子学院大学）、西田 菜央（神戸市外国語大学）

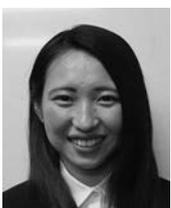
◆大会実施本部（名古屋会場）

大会実施本部 運営局役員

<p>実施本部 副本部長 服部 綾夏（至学館大学） 渡邊 宗俊（日本福祉大学）</p> <p>試合運営部 部長 石原 航（中京大学） 出光 彩乃（金城学院大学）</p> <p>班長 男子 OFGM 班 水野 裕達（中部大学）</p> <p>班長 女子 OFGM 班 山本 美友（愛知大学）</p> <p>男子チーム対応班 加藤 秀都（愛知大学）</p> <p>女子チーム対応班 寺田 直緒（南山大学）</p> <p>企画部 部長 鎌田 将裕（名城大学）</p> <p>班長インタビュー班 山本 優希（金城学院大学）</p> <p>受付班 久澤 咲恵（愛知大学） 近藤 京香（植山女学園大学）</p> <p>音響班 仲 彩乃（岐阜大学）</p> <p>会場運営部 部長 佐藤 幹（愛知大学）</p> <p>班長 清掃班 住田 鮎美（愛知大学）</p> <p>ゾーニング班 梅村 泰正（中京大学）</p> <p>広報運営部 部長 酒井 美佳（愛知淑徳大学）</p> <p>班長 取材班 太田 豊菜（至学館大学）</p> <p>ゲームレポート班 知崎 志保（岐阜大学）</p> <p>装飾班 岡田 圭祐（愛知教育大学）</p>
--

大会実施本部 CPJ 役員

<p>CPJ 代表 服部 綾夏（至学館大学）</p> <p>SNS 班 班長 出光 彩乃（金城学院大学） 米田 真由（岐阜大学） 鈴木 俊介（日本福祉大学） 梶尾 浩史（名古屋商科大学） 小倉 未奈（愛知大学） 畑田 みなみ（中部大学） 山崎 東子（信州大学）</p> <p>企画班 班長 酒井 美佳（愛知淑徳大学） 班員 佐藤 幹（愛知大学） 渡邊 宗俊（日本福祉大学） 金森 優太郎（南山大学） 中島 千紘（愛知大学） 安野 響（中部大学） 奥田 将貴（滋賀大学） 佐々木 智也（信州大学） 吉村 太一（愛知教育大学） 池田 陽夏（名古屋大学） 中井 媛香（愛知学院大学）</p>	<p>宇野 はる香（日本福祉大学）</p> <p>鈴木 桃葉（植山女学園大学）</p> <p>小川 実梨（金城学院大学）</p> <p>前島 奏穂（至学館大学）</p> <p>濁川 紗希（愛知淑徳大学）</p> <p>小島 史也（愛知教育大学）</p> <p>鎌田 将裕（名城大学）</p> <p>小泉 舜矢（名古屋大学）</p> <p>小島 一輝（岐阜大学）</p> <p>石原 航（中京大学）</p> <p>横山 拓実（愛知学院大学）</p> <p>相原 史奈（南山大学）</p> <p>長谷川 里歩（名城大学）</p> <p>高間 早織（岐阜大学）</p> <p>喜来 瑠菜（中京大学）</p> <p>酒井 志歩（愛知教育大学）</p> <p>川崎 野乃葉（滋賀大学）</p> <p>服部 真依（名古屋外国語大学）</p> <p>佐治 瞳（名城大学）</p>
--	--



CPJ 代表
服部 綾夏
（至学館大学）



SNS 班 班長
出光 彩乃
（金城学院大学）



企画班 班長
酒井 美佳
（愛知淑徳大学）



装飾班 班長
鎌田 将裕
（名城大学）

第11回 ラクロス全日本大学選手権大会

◆大会実施本部（仙台会場）

大会実施本部 運営局役員

学連委員長	大畑陽菜乃（東北大学）	副委員長	小野佑華（宮城学院女子大学）	広報委員長	楠本祥喜（東北大学）
補佐	村井田真太（東北大学）	グラメ班班長	長谷川昂輝（東北大学）	副委員長	清田未来（東北大学）
補佐	高嶋佑輔（東北大学）	チーム審判対応班班長	高原祥乃（福島大学）	誘導班班長	楠本祥喜（東北大学）
学連	田村怜於（東北大学）	駐車場班班長	土田太一（岩手大学）	エントランス班班長	中嶋彩瑛（東北大学）
	綿引夏萌（東北大学）	アナウンス班班長	阿部奈央（東北学院大学）	写真班班長	下地拓（東北大学）
	日野康平（東北大学）	運搬班班長	壹岐晃弥（東北学院大学）	イベント班班長	伊藤琴音（東北大学）
	大浦遼（東北学院大学）	新人委員長	谷口慶将（東北学院大学）	企画部次長	佃耕介（東北大学）
	小山優奈（東北大学）	副委員長	佐藤穂乃香（東北大学）	出店班班長	小澤芹奈（東北大学）
	山本心（東北福祉大学）	ゾーニング班班長	川合翔矢（東北大学）	備品班班長	佃耕介（東北大学）
	八木里央（東北福祉大学）	装飾班班長	三浦大輝（東北学院大学）	普及部次長	中野歩香（東北福祉大学）
大会委員長	田代航大（東北大学）	清掃見回り班班長	大槻夕夏（東北福祉大学）		

大会実施本部 CPJ 役員

藤井春帆、佐々木聖奈（福島大学）、山口穂乃花（福島大学）、永井花保（福島大学）、菱事奈央（福島大学）、熊谷麻衣（東北学院大学）、山際千紘（新潟県立大学）、藤田実優（新潟大学）、成田優希（岩手大学）、山本心（東北福祉大学）、八木里央（東北福祉大学）、田村怜於（東北大学）、櫻井風音（東北大学）、斎藤慧（東北福祉大学）、志田拓海（東北学院大学）、小林恒太（日本大学大学）、川上慶（岩手大学）、橋本太朗（新潟大学）、樽井隼人（福島大学）



CPJ 代表
藤井春帆

◆大会実施本部（佐賀会場）

大会実施本部 運営局役員

実施本部 実施副本部長	米倉 由亜小（福岡教育大学）		木村 園佳（福岡教育大学）		藤 政弘（福岡大学）
実施副本部長補佐	藤原 達矢（九州大学）		大川 真依（福岡教育大学）		住吉 克弘（福岡大学）
GD（男子会場）	深松 祐斗（九州産業大学）		畑島 那菜（福岡教育大学）		大木 光陽（九州大学）
（女子会場）	森下 真奈（中村学園大学）		土井 佳奈子（九州大学）		吉竹 翔平（西南学院大学）
MC（男子会場）	境田 竜之介（福岡大学）		山賀 日菜子（九州産業大学）		門司 大生（北九州市立大学）
（女子会場）	大畑 萌々華（福岡教育大学）		古賀 咲江（久留米大学）		蔵本 翔（西南学院大学）
グラメ班 班長	橋西 奏歩（西南学院大学）	カメラ班 班長	岩屋 紗奈（福岡大学）	ゲーム班 班長	平野 雄大（中村学園大学）
	平野 弘人（九州大学）		高木 しおん（福岡教育大学）		森下 真奈（中村学園大学）
	本田 野乃夏（西南学院大学）		森田 麻鈴（福岡大学）		吉田 理香子（筑紫女学園大学）
	寺本 歩夢（西南学院大学）		神屋 皇紀（筑紫女学園大学）		橋西 奏歩（西南学院大学）
	荒木 ひとみ（福岡大学）		森愛 夕香（筑紫女学園大学）		武智 七奈（福岡大学）
	姫野 新奈（福岡大学）	誘導班 班長	菅 菜菜（筑紫女学園大学）		藤川 杏里（筑紫女学園大学）
	森下 さくら（福岡女学院大学）		矢野 汐理（福岡大学）		林 奏葉（福岡女学院大学）
	林 奏葉（福岡女学院大学）		春山 奈菜（九州大学）	広報班 班長	木村 園佳（福岡教育大学）
	中村 亜里紗（福岡女学院大学）		重松 優里（福岡大学）	Web 班	橋本 佳奈（筑紫女学園大学）
	横田 愛綾（中村学園大学）		戸塚 綾美（中村学園大学）	音響班	野中 裕之（福岡大学）
	福山 詩歩（筑紫女学園大学）		吉次 沙也加（中村学園大学）	救護班	内田 壮平（九州大学）
	藤川 杏里（筑紫女学園大学）		岸川 文音（福岡女学院大学）		中尾 充希（筑紫女学園大学）
	福岡 恋（筑紫女学園大学）		宮崎 万智（西南学院大学）		古賀 純華（西南学院大学）
	大谷 瑞穂（北九州市立大学）		園木 さくら（福岡教育大学）		角 友莉亜（北九州市立大学）
	梅原 菜摘（福岡教育大学）		安高 駿（福岡大学）		

◆大会実施本部（2地区予選）

大会実施本部 運営局役員

実施本部長	山本 昌宏（日本ラクロス協会）		中原 功貴（甲南大学）		中谷 美咲（神戸大学）
実施副本部長	花野 貴祐（大阪経済大学）		天満 真也（神戸学院大学）		亀井 笑子（大阪国際大学）
実施副本部長	二木 瑞穂（佛教大学）		吉田 理貴（龍谷大学）		兵頭 ゆか（立命館大学）
ゲームディレクター（男子）	守永 壮太（関西学院大学）		里田 雅樹（京都産業大学）		魚住 星（甲南大学）
	柚木 健汰（京都大学）		山根 聡真（大阪教育大学）		大下 侑夏（大阪市立大学）
	（女子）中澤 珠理（大阪経済大学）		入船 裕太郎（大阪大学）		波多野 佳（関西外国語大学）
	元島 朱理（関西大学）		續木 拓郎（同志社大学）		福地 梨紗（同志社大学）
大会運営部（男子）	杉山 浩一朗（近畿大学）	大会運営部（女子）	杉浦 壮之輔（関西大学）		石見 茜（大阪教育大学）
	城谷 敏史（神戸大学）		浅野 七海（近畿大学）		河野 知佳（京都大学）
	岡 邦彦（立命館大学）		鈴木 杏（神戸女学院大学）		福田 紗菜（関西学院大学）

一般社団法人 日本ラクロス協会 理事・監事

理事・監事：第1期 2018年6月～2020年5月



理事長
佐々木 裕介



代表理事
石樽 信孝



代表理事
寺本 香



理事
安西 渉



理事
市川 弘康



理事
塩崎 祐一



理事
志水 研太郎



理事
田畑 智教



理事
永田 久美子



理事
平田 基樹



理事
藤森 三奈



理事
布施 昌也



理事
古谷 太一



監事
光本 亘佑



監事
山田 雄一郎



監事
吉留 太郎

日本代表プロジェクト
推進委員会代表
深澤 哲雄

ルール委員会
男子競技委員長
関根 幹祐



ルール委員会
女子競技委員長
喜嶋 志穂子

事務局



事務局長
寺本 香



事務局長補佐
遠藤 太郎



総務部長
清水 美也子



経理部長
土屋 啓介



経理部長補佐
村松 隼人



企画部長
保坂 光信



広報部長
今井 健司



強化部長 (代行)
市川 弘康



審判部長
源 学



普及部長 (代行)
田畑 智教



国際部長
菅井 映里



学生連盟本部委員長
古谷 太一



クラブ連盟本部長
布施 昌也



JLAcademy 代表
大久保 宜浩



JLAcademy
佐藤 壮



事務局次長
小松 香織
北海道地区担当



事務局次長
岡田 拓実
東北地区担当



事務局次長
浅井 威宏
関東地区担当



事務局次長 (代行)
塩崎 祐一
東海地区担当



事務局次長
山本 昌宏
関西地区担当



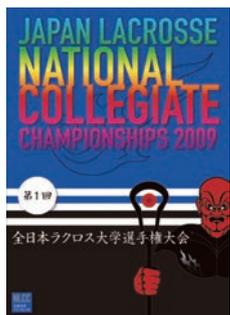
事務局次長
今泉 正樹
中四国地区担当



事務局次長
川原 慶彦
九州地区担当

ラクロス全日本大学選手権大会 PLAY BACK

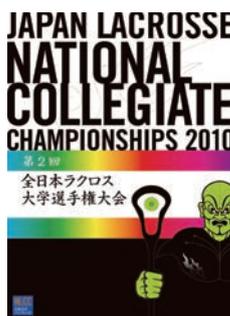
第1回大会 (2009年)



- 準決勝戦 2009年11月28日(土)
 <東京会場>品川区・大井ふ頭中央海浜公園第二球技場
- 三位決定戦 2009年11月29日(日)
 <東京会場>世田谷区・駒沢オリンピック公園陸上競技場
- 決勝戦 2009年11月29日(日)
 <東京会場>世田谷区・駒沢オリンピック公園陸上競技場
 優勝(男子):一橋大学 優勝(女子):東海大学

男子	一橋大学 20	8	3	4	関西学院大学
	岡山大学 4			3	名城大学
女子	東海大学 7	14	4	13	大阪国際大学
	福岡大学 6		2		南山大学

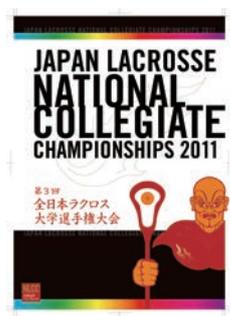
第2回大会 (2010年)



- 準決勝戦 2010年11月23日(火・祝)
 <東京会場>品川区・大井ふ頭中央海浜公園第二球技場
 <大阪会場>大阪市・長居第二陸上競技場
- 決勝戦 2010年11月28日(日)
 <東京会場>江戸川区・江戸川区陸上競技場
 優勝(男子):早稲田大学 優勝(女子):日本体育大学

男子	早稲田大学 16	12	7	20	京都大学
	岡山大学 7			2	名城大学
女子	日本体育大学 10	12	8	15	同志社大学
	西南学院大学 9		2		南山大学

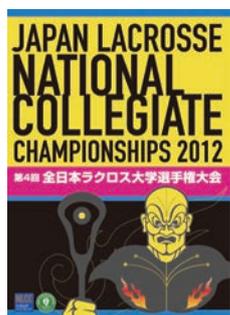
第3回大会 (2011年)



- 準決勝戦 2011年11月26日(土)
 <東京会場>大井ふ頭中央海浜公園第二球技場
- 決勝戦 2011年11月27日(日)
 <東京会場>世田谷区・駒沢オリンピック公園陸上競技場
 優勝(男子):早稲田大学 優勝(女子):関西学院大学

男子	早稲田大学 13	10	8	8	京都大学
	岡山大学 7		5		名古屋大学
女子	立教大学 13	7	8	9	関西学院大学
	西南学院大学 5		4		金城学院大学

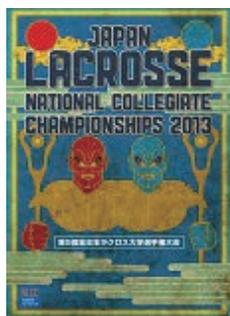
第4回大会 (2012年)



- 1回戦 2012年11月17日(土)
 <名古屋会場>名古屋市・港サッカー場
- 準決勝戦 2012年11月23日(金・祝)
 <大阪会場>大阪市・鶴見緑地球技場
 <東京会場>品川区・大井ふ頭中央海浜公園第二球技場
- 決勝戦 2012年11月25日(日)
 <東京会場>世田谷区・駒沢オリンピック公園陸上競技場
 優勝(男子):慶應義塾大学 優勝(女子):慶應義塾大学

男子	慶應義塾大学 15	7	5	12	京都大学
	北海道大学 3		7	4	名古屋大学
女子	慶應義塾大学 15	14	8	11	同志社大学
	北海道大学 5		10	2	福岡大学

第5回大会 (2013年)



- 1回戦 2013年11月16日(土)
 <名古屋会場>名古屋市・港サッカー場
- 準決勝戦 2013年11月23日(土・祝)
 <大阪会場>大阪市・長居第二陸上競技場
 <東京会場>江戸川区・江戸川区臨海球技場
- 決勝戦 2013年12月1日(日)
 <東京会場>世田谷区・駒沢オリンピック公園陸上競技場
 優勝(男子):早稲田大学 優勝(女子):慶應義塾大学

男子	早稲田大学 14	9	6	14	神戸大学
	北海道大学 8		4	5	名城大学
女子	慶應義塾大学 16	11	2	11	関西学院大学
	北海道大学 5		7		愛媛大学

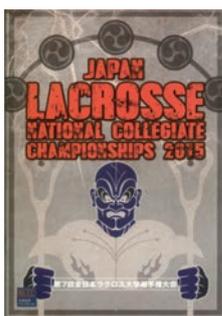
第6回大会 (2014年)



- 1回戦 2014年11月15日(土)
 <名古屋会場>名古屋市・港サッカー場
- 準決勝戦
 <東京会場>2014年11月23日(日)
 品川区・大井ふ頭中央海浜公園第二球技場
 <大阪会場>2014年11月24日(月・祝)
 大阪市・ヤンマーフィールド長居
- 決勝戦 2014年11月30日(日)
 <東京会場>世田谷区・駒沢オリンピック公園陸上競技場
 優勝(男子):慶應義塾大学 優勝(女子):明治大学

男子	慶應義塾大学 18	16	8	7	関西学院大学
	北海道大学 3		6	10	名古屋大学
女子	明治大学 30	10	1	8	関西学院大学
	北海道大学 0		6	10	愛知教育大学

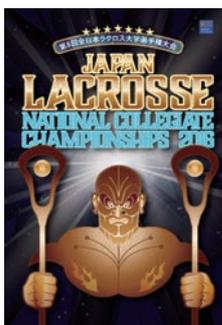
第7回大会 (2015年)



- 1回戦 2015年11月14日(土)
 <名古屋会場>名古屋市・港サッカー場
- 準決勝戦 2015年11月21日(土)
 <京都会場>京都市・宝が池球技場
 <東京会場>品川区・大井ふ頭中央海浜公園第二球技場
- 決勝戦 2015年11月28日(土)
 <東京会場>世田谷区・駒沢オリンピック公園陸上競技場
 優勝(男子):日本体育大学 優勝(女子):明治大学

男子	日本体育大学 13	8	6	8	大阪大学
	北海道大学 3		2	4	南山大学
女子	明治大学 20	7	6	13	関西学院大学
	北翔大学 0		5	7	東北大学

第8回大会 (2016年)



- 1回戦 2016年11月13日(日)
 <東京会場>品川区・大井ふ頭中央海浜公園第二球技場
- 準決勝戦
 <名古屋会場>2016年11月19日(土)
 名古屋市・港サッカー場
 <大阪会場> 2016年11月20日(日)
 大阪市・ヤンマーフィールド長居
- 決勝戦 2016年11月27日(日)
 <東京会場>世田谷区・駒沢オリンピック公園陸上競技場
 優勝(男子):慶應義塾大学 優勝(女子):関西学院大学

男子	慶應義塾大学 9	13	4	12	神戸大学
	名古屋大学 7		7	6	北海道大学
女子	明治大学 11	7	9	16	関西学院大学
	愛知教育大学 1		3	7	東北大学

第9回大会 (2017年)



- 1回戦 2017年11月11日(土)
 <仙台会場>宮城県(仙台市)・ひとめぼれスタジアム宮城
- 準決勝戦 2017年11月18日(土)
 <名古屋会場>名古屋市・港サッカー場
 <大阪会場>大阪府(大阪市)・ヤンマーフィールド長居
- 決勝戦 2017年11月26日(日)
 <東京会場>世田谷区・駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
 優勝(男子)慶應義塾大学 優勝(女子)慶應義塾大学

男子	南山大学 6	10	7	10	大阪大学
	慶應義塾大学 14		4		東北大学
女子	南山大学 5	13	2	12	同志社大学
	慶應義塾大学 10		7		福岡大学

第10回大会 (2018年)



- 1回戦 2018年11月10日(土)
 <宮城会場>宮城県(仙台市)・ひとめぼれスタジアム宮城
- 準決勝戦 2018年11月17日(土)
 <名古屋会場>愛知県(名古屋市)・港サッカー場
 <大阪会場>大阪府(大阪市)・ヤンマーフィールド長居
- 決勝戦 2018年11月25日(日)
 <東京会場>世田谷区・駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
 優勝(男子)早稲田大学 優勝(女子)関西学院大学

男子	名古屋大学 3	16	2	10	京都大学
	早稲田大学 16		8		東北大学
女子	愛知学院大学 3	2	5	11	関西学院大学
	慶應義塾大学 13		5		福岡大学

GO, OUTSIDE!!

日新航空サービスは、ラクロス海外遠征をトータルサポートいたします。
遠征内容、見積り等、お気軽にご相談ください。

さあ、世界へ飛び出そう!!



▶ **NISSIN TRAVEL ONLINE**
<http://nto.nissin-trvl.jp/>



nissin
TRAVEL SERVICE

[お問い合わせ]
日新航空サービス株式会社（観光庁長官登録旅行業第 463 号）
リテール三部 TEL:03-5358-1661 FAX:03-5358-1690
こだわりのツアー『日新トラベルオンライン』<http://nto.nissin-trvl.jp/>